

京古本や往来

アルバイト今昔

伊谷純一郎

本来はドイツ語の労働、作業、研究といった意味をもつアルバイトという言葉が、わが国で学生のもつ言葉として定着したのは、終戦後の早い時期だったと思う。その後、それは時代時代の変容を経ながら、学生生活に影のようにつき纏う生活用語として、今日なお厳然と生き続けているのである。

学生の本業は学問に励むことであるから、アルバイトは当然、金を得るための学問からの逸脱行為をいう。私は、脇道がその人の本業になってしまった似を少なからず知っている。だが今日では、研究の助っ人として本業からそれないですむ結構なアルバイトもあるし、学会の下働きをして大会参加費や懇親会費を免除してもらうの、アルバイトと呼ばれている。

昔はこんなうまい話は少なく、逸脱はアルバイトの前提だった。しかしそれは、学生の身分をおおずけにして社会人の仮面をかぶるいわば演技にも似た、ほろ苦くもまた楽しい経験だったといつてよいであろう。私にも、いくつもの思い出がある。

昭和二十年代の一般家庭の光熱水の熱の部分は、木炭に依存していた。その入手は至難だったのだが、花背峠あたりの炭焼きを訪ねて、四貫俵を二、三俵かつぎおろせば、町ではかなりの収益をあげる事ができた。二宮尊徳張りに読書をしながら俵をかついだわけではないが、山岳部の学生にとつては、トレーニングを兼ねた山行き資金調達のためとなし方便だった。

私は、臨川書店の丁稚をしたこと

季刊
第37号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中京区上ル
東洞院六条角業協合同
京都府古書籍商組合
振替 京都 0-22132
年間購読料(送料5円) 500円
頒価 150円

ともあったし、林政の施業案の地図作りを請負って、瓢箪崩山から金毘羅山あたりの山林測量をしたこともあった。友人と三人で、数カ月かかって花を栽培し、咲いた花々を大八車に積んで夜店に出した。気前よく売りさばっている間はよかつたが、売上げをはじいてみて愕然とし、素人の甘さを噛みしめたことがある。故間直之助先生御鞍旋の競馬場のアルバイトには、クラスの大半が参加した。厩舎での馬の興奮剤使用の取締りは「飲ませた事実の黙秘」、その馬の「馬券購入」、アルバイト代は「元も子もなし」という結果に終わったものだった。

馬恐怖症の男が、葵祭の行列の馬の前を歩かされて不幸な一日をすごした話、ドライアイス以前のアイスクリーム売りが、半分融けたのを路傍の子供たちに分け与えながら泣いた話、ザイルさばきを得意とする某運動部の学生が、苛激派のアビール文字を時計台に書くことを請負い、あとで大目玉を喰った話など、逸話はつきない。

しかし、もつとも収益が大きいのは、バキューム・カーの助手だと聞いたことがある。とにかく当時の貧乏学生にとっては、恥や外聞を捨てること、一般人の意表をつくことも、金儲けの重要なことだったのである。そういう元氣の出ないときには、書棚から引きおろした教冊を風呂敷に包んで、古本屋に持ってゆく以外にはなかつた。それは佻しい経験だったが、文字通り生活が学業を蚕食する図以外の何ものでもなかつたからだろう。

最近の学生も、それぞれが何かをやっているようだが、それが研究室で話題になることはまずない。彼らは、それで結構生活を支え、学び、かつ遊んでいるらしい。家庭教師とか、コンピュータの操作などといったアルバイトが多いのだろうが、今日の社会は、学生をアクロバットに追い込むことなしに、彼らに生きる道を与えているようにも思われる。不思議といえば不思議な世の中、味もそつけないといえども、まさにそのとおり

の世の中なのだが、これが社会の豊かさというものののだろうか。

筆者紹介 京都大学教授 京大アフリカ地域研究センター長、著書「高崎山のサル」「ゴリラとジグミーの森」「霊長類の社会構造」等。一九八四年、ハクスリー賞受賞。

古書のご整理は..... 京都古書研究会加盟店

- 赤尾 照文堂 (京都市中京区) 電話二一五八八
- 石川 古本店 (京都市中京区) 電話二一五三〇
- 井上 書店 (京都市中京区) 電話八二一〇
- キク 才書局 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 其 中 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 京 極 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 沢 密 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 三 密 (京都市中京区) 電話二二七〇
- シルヴァン 書店 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 大 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 竹 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 谷 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 津 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 東 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 外 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 萩 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 福 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 藤 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 井 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 文 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 文 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 文 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 八 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 山 網 (京都市中京区) 電話二二七〇
- 臨川書店 大阪店 (大阪市北区) 電話二二七〇

鹿田文平旧蔵

ハルマ『蘭仏辞典』

松田 清

十九世紀前半、日本の蘭学発展に大きく貢献した蘭和辞典「ドゥーフ・ハルマ」は「長崎ハルマ」とも呼ばれる。出島のオランダ商館長ヘンドリック・ドゥーフが通詞吉雄権之助らの協力を得て文化八、九年頃からフランソワ・ハルマの『蘭仏辞典』第二版（アムステルダム・ユトレヒト、一七一九）を私的に翻訳した初稿をもとに、幕府が公的な翻訳事業として増訂を継続し、天保四年に完成させたものである。昭和五十九年三月、高知県立追手前高校でドゥーフ自筆の「ドゥーフ・ハルマ」初稿を発見した際、同定作業の途中で香川大学神原文庫所蔵のハルマ「蘭仏辞典」（以後、神原本）を初めて調査した。以来、謎多いこの資料の解明に努めてきたが、結論に至っていない。新資料の出現と大方博雅の御教示を願って、拙い中間報告とした。

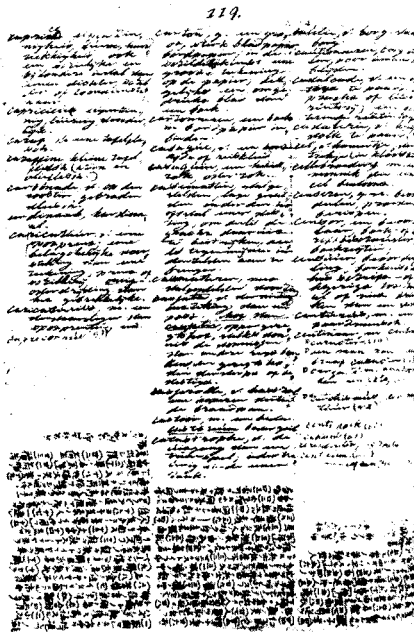
冠を掲げ、両足で息絶え絶えの龍を踏みつけている口絵が見られるが、神原本はこれを欠く。ちなみに、フランソワ・ハルマは「ナントの勅令の廃止（一六八五）」によって亡命を余儀なくされたフランス新教徒のために、また彼らを通してフランス文化を受容せんとするオランダ同胞のために対訳辞書の編纂出版を手がけた。口絵の龍は新教徒を弾圧したルイ十四世の王権、毒気を含んだ火炎を吐く蛇蛙は王権を支えるカトリック勢力をそれぞれ暗示しているようだ。黒い皮の背表紙にタイトルはなく、綴じ糸は麻。綴じ方は洋式ではなく、日本人の素人の手になるらしい。献辞ページの余白には旧蔵者の名前だろうか、W. Julius のサインがある。本文第一ページには「鹿田蔵」の朱印と①の朱印、さらに「D.C.Party, H.Davids」のサインが見られる。

旧蔵者の鹿田某とは如何なる人物か。大阪の有名な古書肆松雲堂の鹿田静七かと思われたが、その印譜に同一のものはない。何の手がかりも得られないまま、あ

る時ふと『大日本人名辞書』（新版、大正15）をひき、「鹿田文平」の名を見出した。「兵学家」「金沢の人」「嘉永六年会々松代藩に聘せられて西洋の兵書を繙訳す」云々。松代の語に思わず、はっとした。というのも神原本は単なる蘭仏辞典ではないからである。本文の一枚おきに木版刷りの罫紙（3列64行）が最後の千五ページまで挿入され綴じ込まれている。表裏とも罫紙上方からかなりの速さで書き込まれたペン書きの蘭文は、反対ページのハルマ『蘭仏辞典』の見出しにない語を他の蘭々辞典から語釈とともに抜き書きした増補草稿となっている。調査の結果、マルチン「明解オランダ語辞典」(Martin, H., Beeldeneerd Nederduitsch woordenboek, Amsterdam, 1832)による増補と判明

した。また罫線下方の墨書きの番号付き和文は、反対ページの番号を付した見出し語例文に対応する訳語訳文となっており、検討の結果、天保四年完成の「ドゥーフ・ハルマ」最終稿系の写本によって筆写したものと判断される。筆写の際、D印を付されたドゥーフ自身による増補は罫紙上方の蘭文増補のあとにやはりD印を付して追加されている。さらに天文学の術語がおよそ六百語あまり訳語付きで増補されている。マルチンの辞書からの増補分に訳語は与えられていないので、神原本は「ドゥーフ・ハルマ」の増補準備草稿といってもよいだろう。また装丁の特徴と汚れ具合から、天文学に造詣の深い蘭字者の座右の書であったらう。

筆者は神原本が象山の開板事業と密接に関わる一級資料ではないかと仮説を立て、まず確かに鹿田文平の旧蔵書であることを立証し、次に筆跡の同定を行ない、さらに象山と文平の関係を解明しようと、昨夏松代金沢を調査した。手がかりは蔵書印、①印および裏表紙の見返しに見られる池善という古本屋の改め印である。蔵書印は松代でも金沢でも発見できなかった。しかし金沢でお会いできた文平の御子孫鹿田啓氏のお宅で、氏も初めて目にするという文平ゆかりの品々を発見し、そのなかから同じ①印のある幕末明治初期の和木



神原本ハルマ『蘭仏辞典』挿入紙(119ページ)

数冊および桐の文書箱が出てきた。これだけまとまって同じ印が出たことから神原本が文平の旧蔵書であったことは確実である。さらに石川鼎立図書館で、明治初期に金沢で出版された和本文数十冊をしらみつぶしに調べ、池善という同一の改め印を関口開「幾何初学」の裏表紙の見返し裏に見出した。池善は漢籍の出版で知られた金沢屈指の古書店で、神原本は鹿田家から池善へ流れたことが判明した。次に筆跡の同定であるが、確実に十分な照合資料が乏しく時間がかりそうである。

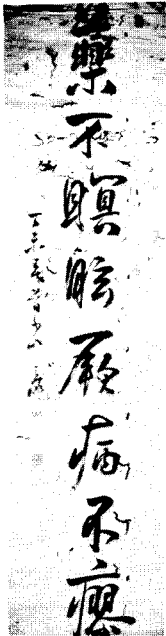
象山との関係を求めて、文平の伝記を追ってみよう。文化十二年(一八五五)加賀藩士足輕小頭鹿田正復(50石)の長男に生まれ、天保二年十七才のとき父が自刃し士籍を削られたため、学問で身を立てようと京都小石元瑞の究理堂に入り、蘭学と医学を修める。門人帳に「鹿田文山」とある。同十一年頃、緒方洪庵の適塾に入門。門人帳に「鹿田謹齋」とある。弘化二年にはしばしば究理堂へ遊び、十月に適塾生を中心とする合同解剖研修に参加して胸部を担当。おそらく弘化から嘉永にかけて江戸に出て苦学。洪庵の師坪井信道の門人帳に「鹿田文山加州金沢之産物」とある。また松代で象山の同僚であった「仏学始祖」村上英俊は嘉永四年一月、江戸に出て開塾するが、その門人帳に「鹿田謹齋」とある。一方、象

山は弘化元年に坪井信道塾の塾頭で加賀出身の黒川良安からオランダ語を学んでいる。こう見てくると文平が江戸苦学時代に坪井塾あるいは村上塾で、松代藩あるいは直接象山と接触した可能性は十分考えられる。興味深いことに、文平の著書「比律中外貨幣篇」に、訳書「戦闘紀事」「攻守略説」「天象解」は伝存を知らないが、ベキヤンス「仏海軍ボンカン砲実験」(Paxlans, H.I. Proefnemingen gedaan door de Fransche marine omtrent de bombe-kanons, 1835)の訳書「海軍要略」は現存し、その凡例には「嘉永二年歳次己酉十月 謹齋鹿田方明識」とある。しかも故佐藤堅司氏は象山筆写本かとされる「海軍要略」を所蔵されていた(国書総目録参照)。

また「増訂荷蘭語彙叙」には「嘉永己酉仲冬象山佐久間啓書」とある。象山ゆかりの写本の存在といいい、凡例、叙両者の日付の近接といいい、はたして偶然であろうか。「海軍要略」翻訳事情に関する資料は見つかっていないが、象山との関わりがあったのではないかと

村上英俊と象山は嘉永四年の一月と五月にそれぞれ江戸に移住するが、前年のホルマ増訂開版事業の挫折と関連するかのようになり、文平も丁度このころ金沢に帰り町医者として生計をたてている。

嘉永六年加賀藩重臣の手医師(50石)となった文平は、同四月江戸への遊学途中、松代藩主真田幸教に求められ、西洋兵書翻訳のため一年余松代に滞在。翌七年五月藩命により金沢へ呼び戻され、土籍に列せられる(60石)。同八月黒川良安とともに加賀藩洋学所「杜猶館」の創立に参加し、西洋兵書翻訳方、同会読方となる。安政四年砲台築造のため能登越中の海岸を取調べる。文久三年軍艦登機丸蒸気器械調理方として函館佐渡へ航行し、元治元年には長州征討のため広島に出陣。慶応二年には英書教授方となる。明治四年の廃藩とともに杜猶館は十八年の歴史をとじるが、創立以来蘭書ついで英書を講じてきた文平は、晩年最後の仕事として英和辞典の編纂にとりかかる。「改正増補英和对訳袖珍辞書(堀越竜之助編 慶応3)



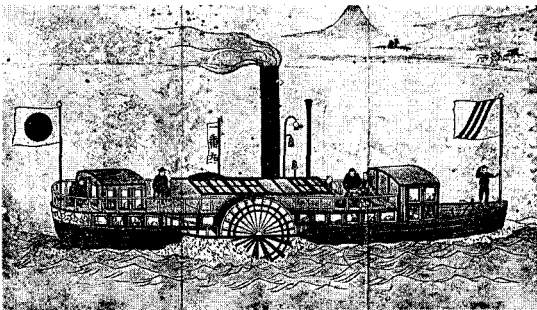
小石元瑞書「藥不賈眩 厥病不癒」(鹿田文平遺品)

をナットル、ウェブスター、ヘボン等の辞書で増補改訂する作業は文平の病死(明治四年正月六日)にもかかわらず、弟子たちの手で完成され、明治七年金沢で「広益英倭字典」として出版された。地方出版史上特筆すべきこの辞典の背後に、象山のハルマ増訂事業の陰の実行者鹿田文平を思い描くのは無理だろうか。

文平に藩校明倫堂の詩会で作った英詩「忠孝廉節四大字歌」がある。
In the our high Academy!
Are Suspended four letters,
namely:
Patriotism, obedience, pure and integrity;
Your scholar take in mind
night and day;
First two quench an retainers
and sons way;
Least two educate the our
world duty;
The chinese four and six
classics;
All are contained this four
letters;
添えられた文平の訳詞は「忠孝廉節字 標出大講堂 汝等生徒輩 日夜懷母忘 初節臣子道 下節操心方 四書六経誨 括蔵此一綱」。

蘭学者特有の句読点を別にして、綴りの誤まり、蘭英辞典の引き間違いらしい五行目の quench を指摘するのは容易である。しかし重要なのは「忠」を loyalty ではなく

く patriotism と訳している点であろう。足軽出身の蘭学者が革命的ナショナリズムに裏打ちされた儒教精神を、藩校の生徒たちに英語で鼓吹しているののである。「臣」として「君」のために撰取せんとする洋学自体は君臣の紐帯を断ち切った近代社会のテクノロジーであった。文平、そして象山はこの矛盾をどう解いたのだろうか。



琵琶湖最初の外輪船「一番丸」

文平の遺品から琵琶湖最初の外輪船、一番丸の色摺版画が出てきた(右図)。加賀大聖寺藩の石川嶮が明治二年三月二日に進水させ、大津海津間に就航した船である。(次頁四段目につづく)

般庵野間光辰先生追憶

大谷 篤 藏

先日赤尾薫君より電話あり、野間先生の思い出を書けということ。その時「われわれの京都古書研究会の機関誌の名付け親で、題字も先生の字なんです」という話。早速手許の『京古本や往来』を取り出して題字を見ると、まがうかたなき野間さんの筆蹟である。昭和五十二年といえは今から約十年前の揮毫になるだけあって、「京古本や往来」のこの六文字は、軟かな艶のある字で、つくづく眺めれば眺めるほど、おおらかな暖かさの滲み出てくるのを覚える。こういう題字というのは、その書物や雑誌の内容なり雰囲気なりに相応しく、それにのることが、なかなか難しいもののようにあるが、この六文字には筆者の本誌に寄せるほのぼのとした親密感と期待が、そのままにあらわれていて、まことにめでたい題字である。

そういえば、その頃のことであろう、おそらくは京大の西鶴輪講会の席上でのことと記憶するが、野間さんが「大谷君、今度京都の古本屋の二世連中が集って研究会をやるいうねん。そらえ、こつちやから大いにやれというた。京何やら雑誌も出すというので、京

古本や往来 という題をつけてやった」と、いかにも得意顔で嬉しそうに言われたのを思い出す。その時の野間さんの笑顔が今もまざまざと目前に浮んで来る。その後、百万遍境内での青空古本市などの新企画なども野間さんから伝えられたと記憶する。よほど本会を親身に感じていられたのであろう。若い時分から、われわれ後輩によく言われた「字者は本屋と一緒に勉強して行くのや」とか、「本屋に借金のないような字者は駄目や」という言葉も今は懐しく思い出される。そういう口癖のように言われた言葉の主旨は、本誌創刊第一号に寄せられた「題分の由来」と題する短文によく現われている。今古人の逸文短篇として忘れ去られることを恐れて、ここに再録させてもらうことにする。

京都古書業界中堅の諸君、この度奮起して同志を結集し、新たに季刊の会報を発行することになった。

その意向するところは、会員各自の古書についての知識を養ひ、その調査の一端を報告し、また時代に即応する古書店の経

営のあり方を研究し、古書仕入れの情報交換するにある。しかしこれは従来の業界誌とは少しく趣を異にして、紙面を一般の顧客にも開放して、業界に対する意見や忠告、古書探求の苦心や注文などの投稿を大いに歓迎し、紙面を通じて業者と顧客との交際・提携をより親密なものにしたいといふ希望を持っている。よって私は請はるるままに、会報の題号を選んで「京古本や往来」と名づけた。「往来」とは「平衡往来」や「庭調往来」などでお馴染の文字、古本屋からの片だよりでなく、お客さんからの御意見、御注文を大いに歓迎するといふ趣旨をあらわしたつもりである。会の順調なる発展と、この「往来」誌の内容充実を期待する。

戊午八朔

ここに述べられた業者と顧客の交際提携の、「往来」の主旨こそ「字者は本屋と一緒に勉強するもんや」という言葉をそのままあらわすものである。

従って故人の一生は本屋さんとは切っても切れぬかわりを持つた一生であったこと、いうまでもない。二十余年も以前から、御自身の健康に対する配慮もあって、その頃の光辰七つ道具の一つ、万歩計を腰に帯びて市中を漫歩するを日課とされていたことがある。

激動の幕末を生きたあと文明開化のなかで諦観したのだろうか、文平は虚舎那房鹿文と号して漢詩を寄せている。

洪濤萬里瞬間通
噴焰旋輪烈烈風
芝谷街頭仙窟中
奇機所出知何處

- 注
- (1) 神原本の所在については「神原文庫目録」及び鈴木博「スーフハルマ」の「長崎言葉」(方言学論叢一藤原与一先生古稀記念論集2一九八一、所収)注1に指摘がある。
 - (2) 杉本つとむ「佐久間象山(増訂荷蘭語彙)の小察」(日本歴史四二二号)参照。
 - (3) 伝記資料として、文平自筆の「先祖由緒并一類付帳」(明治三年十月)、長男直太郎筆「先祖由緒等帳」(明治四年四月)、墓碑銘(明治四年六月金沢藩文学教師永山平政時撰、伝記には墓碑銘による小伝(金沢市教育史稿)大8、所収)がある。なお、「適塾門下生調査資料」第二集(昭48)に津田進

新会員書店紹介

和洋書・古書
津田書店

津田周二



「蟹はおのれの中羅に似た穴を

- (4) 藤野明「ふたつの学び舎——浪華の適塾と京の究理堂家塾——」(大阪の歴史一15、昭60)による。
- (5) 神原本にみられる天文学術語六十余と関連するかもしれない。原書は象山田蔵ソムル「宇宙記」第三版(一八四八—一九年刊)か。東京国立博物館蔵の同一版(整理中)によって是非検討したいものである。
- (6) 「広益英倭字典序」による。正確にはいわゆる『薩摩辞書』を原本とした。今井一良「明治初年金沢出版英和辞典の研究」(昭44)参照。

〔筆者〕前高知大学助教授、現在京都大学教養部助教授(仏語)、日蘭学会員、近世比較文化史専攻

掘る。」マツカサーが日本の民主主義を評して云ったとか。この言葉、古本屋についても云えるのではないかと思えます。古本屋のあるじというものは、それやれ、今まで学校、社会で学んだことや、読書体験、趣味などを土台に自分の店づくりをするわけですから。私の場合、以前、洋書輸入の会社に勤めていたこと、歴史、美術、文学に興味を持っていたこと、これらのことが私の中羅を形づくっているといえます。

その道筋も大体きまっています、昭和四十二年九月の発刊になる『洛中獨歩抄』中「いわゆる『御幸道』」には、東廻り、西廻りの二つ。朝は四条南座の前より東山通りを経て百万遍に至る東廻り、夕は百万遍から三条河原町に出て、古本屋をひやかして帰る西廻り。もちろん時により事に応じて「この帰りの西廻りは、古本屋の外にも諸所に足止めの閑所ありて」万歩計の針が二万歩を越すこともある。

『獨歩抄』には「古本屋をひやかして」とあるが、もちろん単なるひやかしてではない。かくいう筆者なども「これはこの間竹僊室で見付けたものだ」とか「佐々木に寄つたらこんなものがあつた」とかいつて、野間さんから教えてもらった蕪村の書簡をはじめ近世文人の未見の新資料は数点を下らない。皆この洛中獨歩の途次、店頭で書写された資料であり、先生の刺眼を免れ得なかつた逸品ばかりである。

資料の書写といえ、これまた野間さんのお得意中の御得意。ずつと若い頃から、京都・大阪で古書の売立ての下見会などがあると、書籍会館や美術倶楽部などの畳敷の大広間狭しと並べて置かれた出品の書籍を前に座り込んで、次から次へとその書誌的事項や序跋、本文の要旨などを、熱心に書写されてゆかれる野間さんの姿が、今もなお眼前に彷彿とする。朝の開

場を待ち兼ねるようにして入場し、閉会真際まで終日続けられる。しやんと背筋を走らせて座り込んで、一心に鉛筆を走らせてノートに書写される野間さんの姿は、その羽織の裾や袴の裾がかりから、側に置かれた布製の手提袋をも含めたイメージが今も眼前に浮んでくる。



「国語国文学」四六六号より

野間先生といえ、本屋さんの中でも「あ、いつもノートに写して行かぬ先生か」ということになり、野間さんのその姿が下見会には欠くことのできない点景となつていたことを思い出す。そして几帳面な野間さんのこと、ああしてノートされた新しい事実を、必ずや帰宅後分類整理されていたことだろう。そしてこれが先生の精緻確実な学問を支える糧となつていたのであり、あの精力的な努力が先生の学問に結実したともいえる。これこそまこと「学者は本屋

と一緒に勉強するもんや」の語に背かない。

近年はお互に老境に入ったせいもあって、往時ほどに度々面晤の機会もなく疎遠になつてはいたが、それでも西鶴輪講会などで少なくとも月に一回はお顔を拝する機会があった。年と共に次第に脚力の衰えを訴えられ、洛中独歩どころではなくなつたが、従つて馴染の本屋さんの店頭に見られることも稀になつたことと思うが、去年の秋ごろから、別して衰弱がうかがわれるようになり、また極度に無口になられた時期などもあつて、「今日は野間さん割合に元氣やつたな」などと、会後仲間の連中と話合つたことであつた。しかしまさかと思つていたので、事あれば急で、急遽御入院の翌々日、四月二十日の夜十一時、終に往生の素懷をとげられた。

京都古書研究会の今後の発展と本誌のいやが上にも充実することを希望して止まないと共に、本屋さんの方でも、学者と協力して勉強しているんだという自覚をもつて、ますます研修を続けていただきたいものである。それが名付親の野間さんの遺志でもあるのだから。

本誌々友の各位とともに、故先生の冥福をお祈りしつつ筆を擱く。
昭和六十二年七月 以上
(松蔭女子学院大学教授)

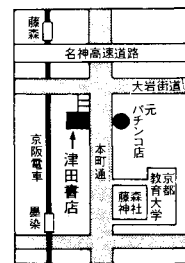
開店以来満三年、自分の穴をセツセと掘つてきたわけですが、今まで、活動の場がほとんど店だけでしたので、所詮、深い穴は掘りえませんで。しかし、この度、古書研究会に参加させて頂いたことができましたことは、驚えれば、今まで素手で掘つていたのが、スコップを手にいれたようなもので、穴掘りのスピードアップにはずみがつきます。

ひとつ深い迷路のような穴を掘

来る八月(八日)十三日) 「世界の文字展」と 「世界の古書籍大即売会」開催

来る八月八日(土)より十三日(木)まで京都市勧業館(岡崎公園内)にて「世界文字フェスティバル in KYOTO」という大イベントが開催される。これは今秋京都市で開かれる世界歴史都市会議を記念する催しで、日本習字教育財団と京都市、京都新聞社が共催で行われるもの。そのフェスティバルの目玉となつているのが「世界の文字展」と「書物の文化―世界の古書籍大即売会」。文字展は京都大学の図書館長であり、西夏文字を解説されたことでも有名な西田龍雄教授の監修で、世界の文字資料を实物、レプリカ、写真などで紹介。文字によって育かれた世界の文化を一目で理解しようというもの。会場二階が「世界の古

つてやろうと思つています。
〒612 京都市伏見区深草直達橋
北二丁目四七二
電話(七五)六四二六七八



書籍大即売会」で書物文化研究会(会員京阪神の十三古書店)が主催。世界最古の印刷物である「百万塔陀羅尼」や西洋の活版印刷術によって初めて印刷されたユークリッドの「幾何学原理」をはじめ日本の五山版や古活字版、や習道資料など文字の担い手としての古今東西の貴書・珍籍を展示即売する。この即売会の出品目録抄(送料共五百円)や文字展の前売券(四五〇円)のお申込みは左記会員店へ。

- 書物文化研究会会員店(京都キョウ書店、密着書店、シルヴァン書房、大書堂、谷書店、吉村大観堂、臨川書店、(大阪)中尾松泉堂、中尾書店、萬字屋書店、リナリ書店、(神戸)くらん書店、笹野書店。

書物の修理 第二回

「書祭」 世儀 義夫

今回は「正岡子規」明治大正文学全集第20巻 春陽堂 昭和6年発行（丸背上製本）を修理してみます。

まず本のチェックリストを作ります。

①どの程度破損しているか。

②本の綴じの種類。

③見返しや表紙は再使用できるか。

④紙の破れや折込みはないか。

⑤書きこみ、蔵印、線引きの有無。

この本は、

①表紙と中身の分離。

②糸綴じ。

③表紙は再使用可能。見返しは取り替え。

④中身の破れや折込みはなし。

⑤書き込み、蔵印、線引き、共になし。

修理手順（写真参照）

①カッターナイフで表紙のウラ側の見返しに浅く切りこみを入れ表紙をはずす。

②表紙のウラ側に貼りついた見返しをナイフでめくり取る。（水を含ませたスポンジで湿らせてもよい）

③表紙の破れた個所に面相筆とのりで修理する。
（表紙の修理完了）

④中身の背の部分に貼つてある背紙を綴糸を切らないように取る。

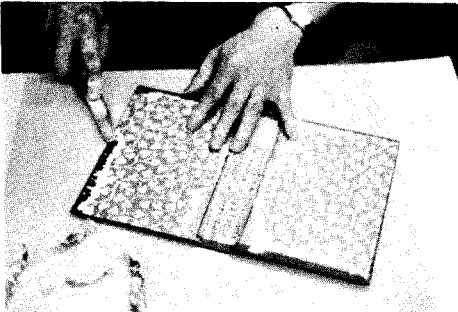
⑤0.2ミリ前後の厚みの上質紙、又はコットン紙のオモテを内側にして2つに折り、中身ののどへボンドで貼りつける。（見返しの大きさは中身より10ミリ程大きくする）

⑥カッターナイフと定規を使い見返しを中身と同じ大きさに切り落とす。

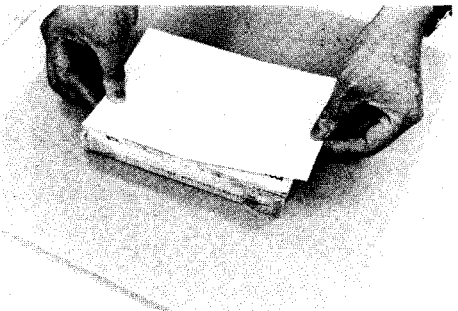
⑦中身の背にボンドを塗り寒冷紗（カンレイシヤ）を貼りつける。



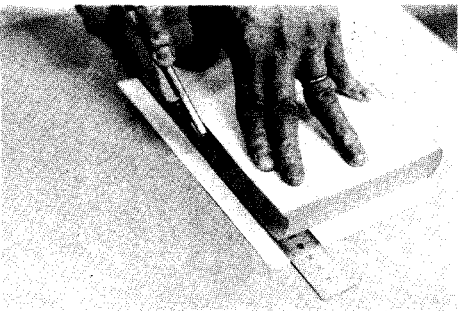
修理をする本
表紙と中味が分離し、見返しが無い。
使い込まれた本に多い状態



修理手順 ②
表紙のウラ側の見返しをめぐり取る



修理手順 ⑤
見返しを貼りつける
ボンドは端かわ2〜3ミリの範囲で少なめにつける



修理手順 ⑥
見返しと中味の間で定規をはさみ、端を合わせて切る。天は中味に添わせて切る



修理手順 ⑦
背固め、をする
背にボンドをたっぷりつけ寒冷紗を貼る

⑧ 次にヘッドバンド（こよりや水引きに布や紙を巻いたもの）を本の天と地にボンンドで貼る。

⑨ 本の背幅と同じ幅に切ったハトロン紙（補強紙）を中身の背にボンンドで貼りつける。

（中身の修理完了）

⑩ 表紙のミゾにボンンドを塗りつけ、中身と合わせる。

⑪ ミゾをヘラで押えたあと太めの糸を巻きつけ結ぶ。

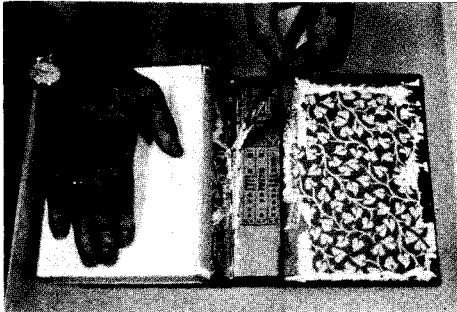


修理手順 ⑧
ヘッドバンド（水引きやこよりを心にして布や紙で巻きこんで作る）を貼る

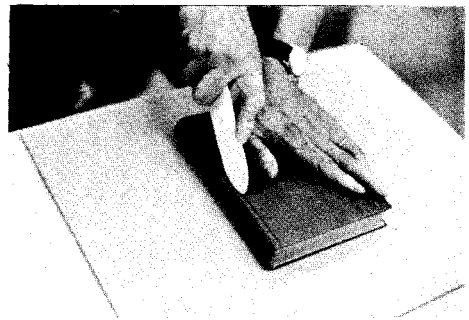
⑫ 表紙を90度開き、刷毛で接着材（ヒメのりとボンンドを半分ずつ混ぜ、水を加えたもの）を見返しにムラなく塗り表紙を静かに閉じ体重をかけ3分間程強くプレスする。

⑬ 表紙を少し開き、はみ出したのりがあれば布で拭き取ったあと重しを置き、一昼夜そのままにしておく。

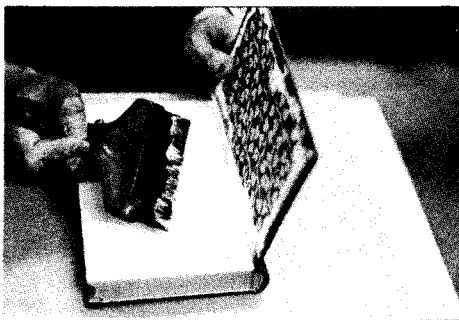
（修理完了）



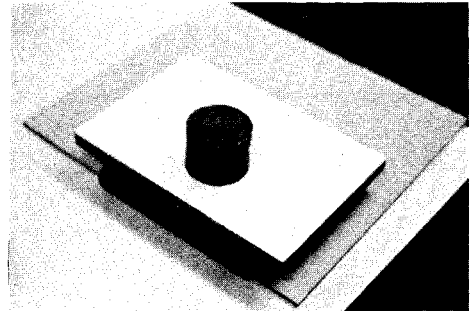
修理手順 ⑩
表紙のミゾにボンンドをつけ、中味と合わせる。ボンンドをつけすぎない様注意



修理手順 ⑪
ミゾをヘラで押さえる



修理手順 ⑫
表紙と見返しを貼り合わせる



修理手順 ⑬
出来上り



製本・修理の参考文献
下記参照

参考文献 上写真右側より

● 上手な本づくり 野村保恵
日本エディタースクール出版部 昭59年

● 愛書 第5号（図書保存特輯號）
臺灣愛書會 昭11年

（写真は復刻版）

● 製本之輯 上田徳三郎 口述
武井武雄 図解 昭16年

● 製本 名著普及会 昭54年
「製本之輯」の復刻改題版

● 百三十九冊の不思議な本 斎藤正一
昭59年

● 文化出版局 昭59年
本とその周辺 武井武雄

● 中公文庫 昭50年
雑誌では季刊「銀花」44号に（本の修理師―細川福三さん）と（本の修理のための本一冊）。

● 「銀花」48号に（増上寺蔵、高麗版大蔵経を修復する―装潢師池上歸志子さん）の紹介記事。

● ここに紹介した参考文献は全冊製本工房「書祭」に所蔵しております。

● 製本についてのご質問は☎590大阪市西区江戸堀一―三二―七

● 西村ビル二階 製本工房「書祭」TEL.06545-1988までお気軽にどうぞ。見学希望の方は電話で予約して下さい。

● （午前十一時―午後六時三〇分）

● 日曜祝休

古書研だより

古書研メンバーの

支店・新店舗続々オープン!

近代的な古書店経営をめざして結成された京都古書研究会も、はや10年を経過し、すっかりおなじみになりました。春と秋の古本まつり等のユニークな企画による催しとは別に、各店舗の充実も著しく、今年、次の三店が新規開店いたしました。各店とも、それぞれ工夫をこらした店に仕上がっています。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

東方書店

京都市北区大宮南田尻町一八
電話〇七五四九二二三三四

小生此度表記の所に開店いたしました。これまでもつばら即売展、古本まつり等の催しに出店するのみで、日常的にお客様に接するのは此度がはじめてであります。古書研究の修業は何年々季を入れても、間口も奥行も深く広いものであり、私自身、一層の前進を期して努力する決意であります。何卒よろしく願いたします。

当店では現在、教育書を中心に社会科学、文学、美術、趣味本文庫本、まんが本等広範囲に取り



◎営業時間 正午〜午後9時
◎定休日 なし
◎交通は市バス(北)⑨西賀茂行き
みその橋バス停下車西50米
大宮通みその橋通交差点西北角

竹岡書店 衣笠店

京都市北区小松原北町19-127
電話〇七五四六四一七〇〇四



立命館大学東門前に四月一日、竹岡書店衣笠店を開店しました。

通りは立大生の通学路になっている為、朝はかなりのラッシュです。店は、間口四間とかなり広く、通路も広いのでゆったりと見ていただけます。店内にはBGM(有線)が流れ、明るくて学生指向。店頭には、雑誌、一〇〇円均一、法律書三〇〇円均一等、常時ミニイベントが行なわれています。店内は、法律、経済、思想、哲学等社会科学系統の本が中心です。又、最近の傾向ですが、文庫、新書、マンガもたくさん並んでいます。店番は立大生心理学専攻の女

性を中心に行なわれている為、時折喫茶店に早変わり。その折にはどうぞお気軽に仲間になって下さい。立命館大学近辺の古書店として、先生や学生の期待に答えられるような店にしていきたいと思っています。

◎営業時間 午前10時〜午後8時
◎定休日 日曜日

救書房 一乗寺店

京都市左京区一乗寺里ノ西町91
ロイヤルコーポ大同一階中央
電話〇七五七七二一九六六四

6月3日より左京区一乗寺下り松西入二百米に、支店救書房一乗寺店を開店致しました。当店は、在庫商品の充実が急務ですが、フロアが本店の倍以上と広いので、本店や勸業館・青空古本まつり・近鉄即売会での出品のイメージを念頭に置き、たして四で割った様な店づくりを考えて陳列致しました。将来は、この店にて弊店の自家目録の在庫管理から発行迄、取り扱っていく所存です。

とにかく、本好きの皆様に満足していただけるような、楽しい、面白い古書店をめざして、より一層努力したく思います。ぜひ一度ご来店下さい。そして色々アドバイスして下さい。

◎営業時間 正午〜午後10時
(日曜・祭日9時)
◎定休日 5・15・25日



編集後記

◎本誌の名付け親である野間光辰先生が、去る4月30日お亡くなりになりました。会員一同、心より御冥福をお祈りすると共に、本誌の一層の充実を決意する次第です。◎お忙がしい中、大谷篤蔵先生に追憶の文を書いていただきました。どうもありがとうございます。◎6月7日、当会文化部の主催でプリンティング・フェア(国際見本市会場)と北斎展(高島屋)の見学に行きました。今後、このような機会に、本誌御愛読の皆様と御一緒に見学し、お話し合えればと考えています。

次号予定
「京古本や往来」第三十八号は
十月十五日発行予定です。

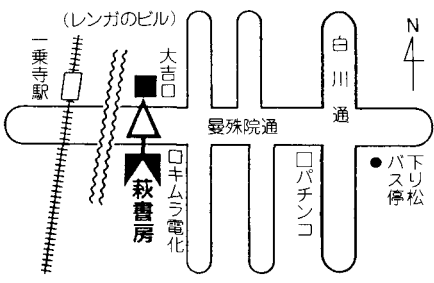
〒602 京都市上京区烏丸通り上御霊前下ル
上御霊前町四二二

萩 書 房

電話(〇七五) 四三二一三七二
振替 京都 八一四三三六

- 1 中等習字教科書 上中下 三冊 東南家賢編 明40 二,〇〇〇
- 2 尋常小学書方手本 第一、六学年之種 11冊汚れ 明43 二,五〇〇
- 3 女子習字手本 野村敬賢書(痛有) 明20 三,〇〇〇
- 4 ペン実用書法 石川雅山書 三陽書院 昭10 三,〇〇〇
- 5 漢文のはやし 小川直子・小野銅之助書 大7 三,〇〇〇
- 6 尋常小学綴り方教科書第四、五、六学年用各冊 大7 三,〇〇〇
- 7 時文選 卷一、二、三、五(書込有) 大4、7 各冊 五,〇〇〇
- 8 高等学校漢文読本一 第三高校編 大8 二,〇〇〇
- 9 訂高等漢文読本卷一 資講 福永亨吉 大8 二,〇〇〇
- 10 花月草紙抄 小原要逸編(書込有) 宝文館 大5 二,〇〇〇
- 11 孟子鈔 簡野道明校訂 明治書院 明45 二,〇〇〇
- 12 益軒文鈔 (書込有) 光風館 大5 二,〇〇〇
- 13 史記鈔本 兒島獻吉郎編 光風館 大5 二,〇〇〇
- 14 徒然草鈔本 光風館 大5 二,〇〇〇
- 15 楓紋 玉勝間 上田萬年編 大日本図書 明45 二,〇〇〇
- 16 訂改国語漢文参考図絵(中表紙破) 三香書院 昭12 二,〇〇〇
- 17 新選国漢参考図録 帝國書院 昭11 二,〇〇〇
- 18 日本文法教科書 上下一冊(書込有) 積善館 大5 二,〇〇〇
- 19 尋常小学新定画帖 第二学年教師用 文部省 明43 四,〇〇〇
- 20 〃 新定画帖 五年男、六年男、四年児用 明43 各冊 二,〇〇〇
- 21 〃 毛筆画帖 三年児用、男生用 明38、43 各冊 二,〇〇〇
- 22 総合美術史要 美育振興会 晩成所 昭17 二,〇〇〇
- 23 国定 日本歴史問答 上巻第一、二学年用 明39 四,〇〇〇
- 24 訂改 日本歴史問答 卷一、二(書込有) 大元 二,〇〇〇
- 25 三訂 実業日本歴史 萩野由之 富山房 昭4 二,〇〇〇
- 26 中等東洋史教科書 桑原隲藏 開成館 大5 二,〇〇〇
- 27 新編東洋歴史 〃 開成館 大15 二,〇〇〇
- 28 新編外国歴史教科書 西洋之部 磯田良 大11 二,〇〇〇
- 29 改定 小日本歴史附図 尋常五、六学年用 大2各冊 二,〇〇〇
- 30 法制経済綱要 堀卓次郎(書込有) 大日本図書 大6 二,〇〇〇
- 31 尋常小学地理 児童用 卷一、二 附図 三冊 明43 四,〇〇〇
- 32 普通教育 世界地理教科書 上下下冊 山崎直方 大3 三,〇〇〇
- 33 小学理科問答 第二学年児童用 普通学講習会 明39 四,〇〇〇

萩 書 房 II



TEL 712-9664

左京区一乗寺里ノ西町91-3
ロイヤルコーポ大同一階中央

本店同様末永く、ご指導・ご愛顧下さい。
ますよう心からお願ひ申し上げます。

☆六月より、一乗寺下り松西入に支店を
開店致しました。

- 34 尋常小学理科書 児童用第五、六年 明44各冊 一,〇〇〇
- 35 最新動物学教科書 (谷津直秀(書込有) 積善館 大元 二,〇〇〇)
- 36 中等鉱物教科書 比企忠(書込有) 積善館 大5 二,〇〇〇
- 37 中等教育物理生徒実験用書 森総之助 大7 二,〇〇〇
- 38 訂改 石川生理衛生教科書(書込有) 富山房 大4 一,五〇〇
- 39 尋常小学算術書 児童用 三、四、五、六学年 明43各冊 一,五〇〇
- 40 尋常小学算術書 教師用 五、六学年 大元各冊 一,五〇〇
- 41 新編裁縫教科書 上中下三冊 今村順子 大2 二,〇〇〇
- 42 改修中学修身書 卷一 沢柳政太郎 大3 一,五〇〇
- 43 藤井中学修身書 卷二、五 計4冊 大5 二,〇〇〇
- 44 尋常小学修身書 児童用 卷一、六計5冊 大2、4、5 三,〇〇〇
- 45 尋常小学読本 卷三、十二計10冊 明42、大2 六,〇〇〇

石川古本店

電話(〇七五) 七一一一五四二九
振替 京都 七三三〇八九

〒606 京都市左京区一乗寺南大丸町95

- 1 禪の極致を酒脱に説いた澤庵和尚 谷至道 昭8 三,五〇〇
- 2 禪の第一歩 日高兼禪 太陽社 昭8 三,五〇〇
- 3 禪の面目 倉地圓照 具葉書院 昭2 三,〇〇〇
- 4 參禪入門 菅原時保 中央出版 昭3 三,〇〇〇
- 5 禪毒書 釋瓢齋 立命館出版 昭9 二,八〇〇
- 6 禪林高僧物語 樋口琢堂 和敬学園 昭28 一,五〇〇
- 7 托鉢行願 西田天香 春陽堂 大11 四,五〇〇
- 8 靈界の統一 鶯谷日賢 日宗新聞 大15 三,八〇〇
- 9 靈心の王国 梶 康郎 帝國教育 大15 三,八〇〇
- 10 金剛経提講 神月徹宗 日本佛化 昭3 三,五〇〇
- 11 大原問答談叢(背カケ) 龜田千巖 為法館 昭30 二,五〇〇
- 12 新井石禪師大講演集 大日本雄弁会 昭2 三,〇〇〇
- 13 法蔵菩薩と阿弥陀佛 曾我量深 昭38 一,五〇〇
- 14 正信偈講讀 大原性美 昭41 一,〇〇〇
- 15 阿弥陀経法話 小山法城 昭46 一,〇〇〇
- 16 歎異抄の世界 西元宗助集 教育新潮社 昭45 一,〇〇〇
- 17 雄華雲 梅原真隆歌集 昭37 一,〇〇〇
- 18 念佛者の人生論 西元宗助 百華苑 昭39 一,〇〇〇
- 19 算易そろばん占ひ 佛教新聞社編 昭45 一,〇〇〇
- 20 四威明 方位と家相の見方 井上幽逸 洋社 昭35 一,〇〇〇
- 21 運命と指紋吉凶判断 高木乗 昭2 三,五〇〇
- 22 姓名の神秘 平野日宗 恒星堂 昭3 二,五〇〇
- 23 訂改 神通術與魔術 小野清秀 大文館 昭29 二,五〇〇
- 24 訂改 加持術秘傳 小野清秀 大文館 昭30 二,五〇〇
- 25 訂改 加持術秘傳 加藤大岳(書込多数與付欠) 大文館 昭30 二,五〇〇
- 26 傳秘 易学病占 東洋五術連命学会 昭46 二,五〇〇
- 27 易占術 松田定象 神宮館 昭47 二,五〇〇
- 28 新選易学小窓 安岡正篤 明德出版 昭36 二,五〇〇
- 29 易学入門 観象学人 神宮館 昭47 二,五〇〇
- 30 知って 易学の話 板井祖山 白川書院 昭53 一,五〇〇
- 31 四柱推命学入門 小林泰明 三密堂 昭58 一,五〇〇
- 32 占断 四柱推命学入門 小林泰明 三密堂 昭58 一,五〇〇
- 33 俳諧歳時記(四冊揃箱欠) 山本三生 改造社 昭8 五,〇〇〇

〒606 京都市左京区一乗寺塚本町106の2
白川ビル1F

文庫堂

電話(〇七五)七二二四四九九
振替 京都 二二四二五七九

- 1 日展史1~11 文展編・帝展編編 昭56 六、〇〇〇
- 2 日本版美術全集 8冊 講談社 昭36 五、〇〇〇
- 3 訂建築学大系 全44冊 彰国社 昭51 五、〇〇〇
- 4 平安時代の美術 京都国立博物館 昭33 二、〇〇〇
- 5 光悦遺芳 恩賜京都博物館 昭10 三、〇〇〇
- 6 棟瀬遺墨 便利堂 昭15 四、〇〇〇
- 7 華香墨蹤 富田溪仙編 昭7 二、〇〇〇
- 8 鉄齋 筑摩書房 昭32 三、〇〇〇
- 9 藤田嗣治面集 仮装 朝日新聞社 昭4 四、五〇〇
- 10 雪舟 便利堂 昭31 八、〇〇〇
- 11 国宝 特製版揃 毎日新聞社 昭38 六、〇〇〇
- 12 香雪齋展観図録 附目錄 保存良 昭9 三、〇〇〇
- 13 京都府文化財図録 全二冊 昭44 八、〇〇〇
- 14 手漉和紙 外函付 毎日新聞社 昭50 五、〇〇〇
- 15 伝統の染和紙 吉岡常雄 紫紅社 昭52 三、〇〇〇
- 16 正倉院の紙 日本経済新聞社 昭45 六、〇〇〇
- 17 手漉和紙聚芳 全4冊 久米康生編 昭54 二、〇〇〇
- 18 和紙三昧 特製署名外函付 安倍栄四郎 昭47 三、〇〇〇
- 19 岐阜県手漉和紙沿革史 森義一 昭21 九、五〇〇
- 20 藍の華 高橋正隆 昭48 三、〇〇〇
- 21 東方染色文化の研究 限定帙 上村六郎 昭8 三、〇〇〇
- 22 古書と近世日本の染織 後藤捷一編 昭38 六、〇〇〇
- 23 日本染織文獻総覧 後藤捷一編 昭55 二、〇〇〇
- 24 宮崎友禪齋と近世の模様染 明石染入 昭28 六、〇〇〇
- 25 染織図案変遷史 毛斯繪協會 昭4 九、〇〇〇
- 26 新日本上代織技の研究 川島織物 昭51 九、五〇〇
- 27 辻が花 山辺知行 京都書院 昭39 七、〇〇〇
- 28 百選会百回史 高島屋 昭46 五、〇〇〇
- 29 組合史 西陣織物工業組合 昭47 三、〇〇〇
- 30 西陣史 佐々木信三郎 元版 芸艸堂 昭7 五、〇〇〇
- 31 日本色名大鑑 函 上村六郎・山崎勝弘 昭18 三、〇〇〇
- 32 訂増日本色名大鑑 上村六郎・山崎勝弘 昭25 三、〇〇〇
- 33 日本色名大鑑 上村他 染織と生活社 昭51 三、〇〇〇

〒612 京都市伏見区深草直達橋北一四七一

津田書店

電話(〇七五)六四三六七八
振替 京都 〇一五三三三九

- 1 友禪研究 野村正治郎 芸艸堂 大9 一、四〇〇
- 2 黙語図案集 表紙いたみ 芸艸堂 昭42 一、五〇〇
- 3 出藍録 二木産業社史 昭30 一、〇〇〇
- 4 天半藍色 三木産業社史 昭49 五、〇〇〇
- 5 第十三世三木與吉郎眞治伝 三木産業 昭57 二、〇〇〇
- 6 河井寛次郎 人の仕事 全2冊 昭51 四、〇〇〇
- 7 渡辺華山の木と芸術 藤森成吉 春秋社 昭37 三、五〇〇
- 8 改訂写真版 渡辺華山 森銃二 創元社 昭36 一、〇〇〇
- 9 女性美の創造 山野千枝子 生命の芸術社 昭10 二、〇〇〇
- 10 神秘日本 初版 岡本太郎 中央公論 昭39 二、〇〇〇
- 11 日本袋物概史 京都袋物協同組合 昭52 五、五〇〇
- 12 近世絵画史 藤岡作太郎 河原書店 昭21 一、八〇〇
- 13 もうひとつの旅 山下清画文集 ニトリ書房 昭46 一、五〇〇
- 14 富岡鉄斎展 生誕一五〇年記念 昭60 三、五〇〇
- 15 東京芸術大学所蔵名品展 第一書房 昭59 三、〇〇〇
- 16 日本美術論攷 秋山光夫 昭18 三、〇〇〇
- 17 重要文化財 旧金比羅大芝居修理工事報告書 昭51 二、〇〇〇
- 18 史蹟 旧竹田荘(母屋他2棟) 修理工事報告書 昭58 八、〇〇〇
- 19 重要文化財 桑原家住宅(主屋他四棟) 昭57 四、〇〇〇
- 20 重要文化財 同境修理工事報告書 東京都 昭57 四、〇〇〇
- 21 修理工事報告書 岐阜県 昭56 八、〇〇〇
- 22 重要文化財 旧尾形家住宅移築修理工事 昭47 四、〇〇〇
- 23 重要文化財 布施神社本殿(三棟) 丸山町 昭57 五、〇〇〇
- 24 重要文化財 境界住宅修理工事報告書 熊本県 昭52 三、〇〇〇
- 25 重要文化財 高麗家住宅保存修理工事 新潟県 昭52 四、〇〇〇
- 26 重要文化財 報告書 埼玉県 昭39 三、〇〇〇
- 27 クレーの日記 南原実訳 吉川弘文館 昭41 三、〇〇〇
- 28 肖像選集 日本歴史学会論 中外書房 昭51 一、〇〇〇
- 29 大阪けんぶつ 復刻版 昭51 一、〇〇〇

〒604 京都市中京区壬生下溝町七一
(仏光寺通西新道東入)

京極書店

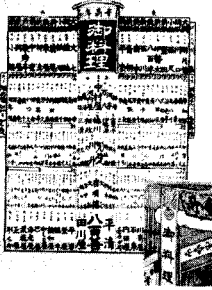
電話(〇七五)三二五一五六〇
振替 京都 六一三二四八八

- 1 若越農政経済史研究 復刻 杉本 寿 昭49 二、〇〇〇
- 2 日本古代貨幣史の研究 原 三正 昭53 四、五〇〇
- 3 大隈財政の研究 中村尚美 昭43 二、五〇〇
- 4 日本商人史考 倉本長治 昭42 三、〇〇〇
- 5 経済的 小売商店繁昌策 石井研堂 昭43 三、〇〇〇
- 6 米国小売商店の研究 鈴木隆輔 昭13 三、〇〇〇
- 7 郵便の父 郵便創業談 通信協会編 昭11 三、〇〇〇
- 8 青刷飛脚 笠間果雄 昭16 一、五〇〇
- 9 逆に 井上吉次郎 昭11 一、〇〇〇
- 10 隨筆集 観るもの 昭15 一、〇〇〇
- 11 記者と学問の間 同社刊 昭6 四、〇〇〇
- 12 通信と対話と独語と 西川能三郎 昭31 二、五〇〇
- 13 日本毛織三十年史 阿呆六十年の足跡 昭31 二、五〇〇
- 14 創業三十五周年を回顧して 石原広一郎 昭31 一、五〇〇
- 15 昭和会三十年史 大阪文具昭和会 昭30 一、〇〇〇
- 16 五十年の歩み(コクヨ) 其伝記編纂所 昭29 一、〇〇〇
- 17 沖本太郎(沖電気) 船田享二 昭14 三、〇〇〇
- 18 多田音松説話集(教育美談集) 高村秀雄 昭43 五、〇〇〇
- 19 領海制度の研究 G.ルイス 昭24 二、五〇〇
- 20 犯罪者との関係 関根、西村訳 昭10 一、五〇〇
- 21 心神喪失論 菊池甚一 昭10 一、五〇〇
- 22 鎌田栄吉全集 三冊 其刊行会 昭9 四、五〇〇
- 23 松阪広政伝 其刊行会 昭46 二、〇〇〇
- 24 岩村通世伝 芥 潔 昭50 四、五〇〇
- 25 喜寿を迎えて 国声社 昭5 二、〇〇〇
- 26 貴衆両院要覧 '60版 世界書院 昭2 二、〇〇〇
- 27 大日本政党史 若林 清 昭19 三、五〇〇
- 28 日本政治年鑑 中村 編 昭40 二、〇〇〇
- 29 アメリカの対外政策と決定会議 深谷 隆 昭19 二、〇〇〇
- 30 新米英対日圧迫五十年史 田中直吉 昭44 二、〇〇〇
- 31 新日米安保条約の研究 杉田 一次 昭42 二、〇〇〇
- 32 忘れられている安全保障 昭42 二、〇〇〇

〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

大書堂

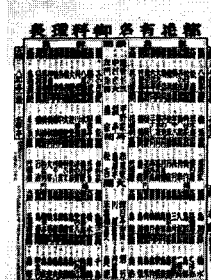
電話(〇七五)二二一〇六八五
振替 京都 七三二六八五



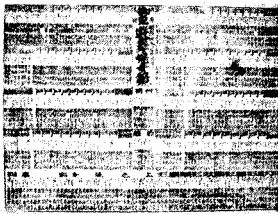
3 会席御料理 八百善
明治刊 袋附 25,000円



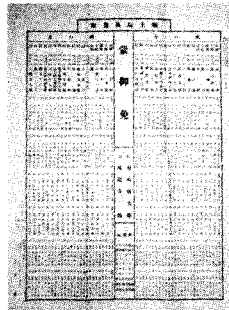
2 阪府麵類商見立 久宝寺町
田中安次郎 明治18年
25,000円



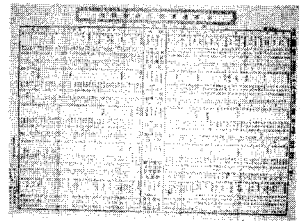
1 都花有名御料理表
京都土産第二号
明治43年 35,000円



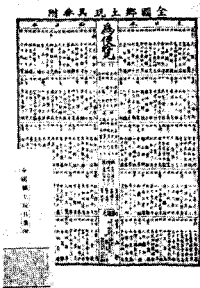
6 遊舞婦女鏡 京都 明治21年
35,000円



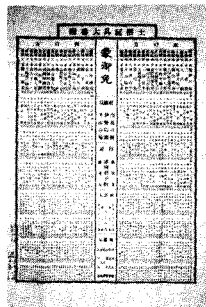
5 郷土玩具番附
ジャンプノリスト、ピューロー邦人部
昭和8年 6,000円



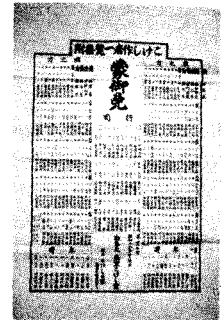
4 京阪津花柳美芸特撰集
リハソ新聞社 明治35年 5,000円



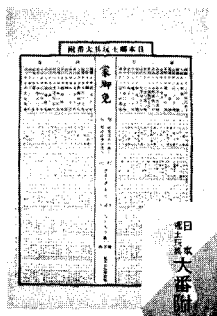
9 全国郷土玩具番附
旅の趣味会 昭和16年
袋附 7,000円



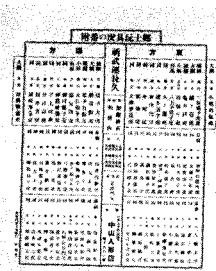
8 土俗玩具大番附
伝説のおもちゃや家刊
大正13年 15,000円



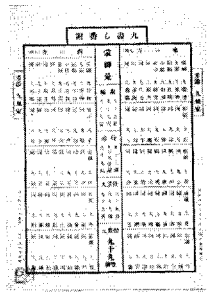
7 こけし作者一覧番附
東京こけし会 昭和12年
8,000円



12 日本郷土玩具大番附
東洋民族博物館
昭和9年 袋附 8,000円



11 郷土玩具虎ノ番附
中山人形店 昭和 年
5,000円



10 九盡し番附
九十九豊勝蔵版
昭和9年 2,000円

シルヴァン書房

〒600 京都市下京区仏光寺通東洞院角
電話(075)341-8793 振替 京都1-7938

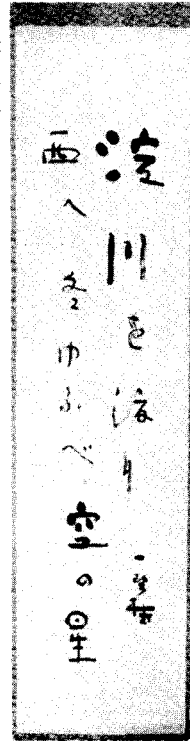
1. (独) ハンス ベルメール 人形 Bellmer, H. DIE PUPPE 190頁 写真, 挿図多数 紙原装 旧蔵者印,
詩入 Gerhart 1962 限定版 1冊 ¥12,000
2. (仏) ハンス ベルメール 24の複製 1934—1950 VINGT-QUATRE REPRODUCTIONS 48頁 図版多
旧蔵者印 汚レ有 1950 パリ刊 1冊 ¥4,000
3. (仏) ハンス ベルメールの残酷な宝 LE TRESOR CRUEL DE HANS BELLMER 219頁 大判 図版多
スフィンクス社刊 1冊 ¥8,500
4. (英) ブルッセルドルフ他著 愛の絵本 Brusendorff, o. and P.Henningsen LOUE'S PICTURE BOOK
159+159+159+151頁図版多 旧蔵者印有 VETA コペン 1961 揃4冊 ¥15,000
5. (英) クロンハウゼン博士 エロチック芸術 P & E クロンハウゼン博士監編 EROTIC ART. 81色図
781黑白図 4to. Grove press 1968 揃2冊 ¥28,000
6. (仏) バタイユ エロスの涙 BATAILLE, G. LES LARMES D'EROS 250頁 図版多 小型本
旧蔵者印 少シミ有 J-J. pauvert社 1961 ¥4,500
7. (仏) セクソロジー辞典 補遺A-Z DICTIONNAIRE DE SEXOLOGIE Supplement. A-Z. 420頁
図版多 小型正方形 旧蔵者印 J.J. pauvert社 1965 ¥8,000
8. (英) ローソン 東洋のエロチック芸術 Rawson, p. EROTIC ART OF THE EAST A. コンフォート序
380頁 L.4to. 図版, 色図多 Putmann社 1968 ¥20,000
9. (英) ディッキンソン 人体性解剖図解 Dickinson, R.L. HUMAN SEX ANATOMY 133頁文+175図解
大型本 R.E. Krieger社 1971 ¥20,000
10. (仏) ベルトランドのエロッチな素描 第一巻 E. Arsan文 R. Borde序 第二巻 H. Juin文
別巻 J.P. Stholl文 J. Chambon序 DESSINS EROTQUES 図版, 色図多 大型本 E. Losfeld社
1969, 1971 限定版 稀少 3冊 ¥35,000
11. (独) ベンセ他文 パール ヴンターリッヒ 石版カタログ 1949—1971 Bense, M and many others
PAUL WUNDERLICH Werkverzeichnis der Lithografien von 1949—1971 263頁 小型横長本
図版色図多 343点 プロピレール刊 1971 ¥8,000
12. (独) バイロス ダス ガランテ ベルク 装飾紙原装 Frang von Bayros DAS GALANTE WERK
120+120頁 総図 大型本 番号入 旧蔵者印 第2巻に少汚レ有 Gala社刊 限定稀少本 揃2冊 1966 ¥55,000
13. (仏) ウェレット, ジョーンズ共編 エロチックな絵葉書 Ouellette, W./Johes, B. EROTIC POSTCARDS,
127頁 総図版色図多 4to. Excalibur Books 1977 ¥4,500
14. (仏) ダニエル 神格化のエロチズム (ヒンズー寺院の石仏) Daniélou, A. L'EROTISME DIVINIS'E
115頁 図版多 大型本 限定番号入 旧蔵者印 詩有 Buchet/Chastel社 1962 ¥13,000
15. (日) ハンスベルメール イマージュの解剖学 種村季弘, 滝口修造訳 202頁 河出書房新社 昭50 ¥6,500
16. (英) エロス 第一巻第2号—1962年夏号 Ginzburg, R編監 EROS. 図版 色図多 大型本
Eros magazine 1962 1冊 ¥5,000
17. (仏) ハミルトン ビリティス写真集 第1回監督映画の追憶として Hamilton, D L'ALBUM DE
BILITIS 111頁 図版 色図多 L. 4to. R. Laffont, 1977 ¥5,000
18. (独) ニュートン写真集 白人女性 Newton, H. WHITE WOMEN 107写真 色図多 大型本 R&B
1976 ¥8,000
19. (日) マックス エルンスト 百頭女 巖谷国士訳 A. ブルトン序 河出書房新社 昭49 ¥6,500
20. (独) ロ・デュカ 絵画に於けるエロス —ヨーロッパ芸術に於けるエロチック— LO DUCA著
バタイユ序 EROS IM BILD 288頁 図版 色図多 K.Desch社 1988 68 ¥20,000
22. (仏) ラファエリ・アヴリル 写真と文 エクスタス Raffaelli, R/Avril, N. EXTASES 写真集
約100図 Tchou社 1976 ¥15,000
23. (英) ヘスター写真集 古典的ヌード Hester, G.M THE CLASSIC NUDE 130頁 写真図
A & W. Visual社 ¥5,000
24. (仏) ジュッソン写真集 女性 Pierre Jousson LA FAMME 約100頁 大型正方形版 La Cite社
1964 ¥4,500
25. (仏) ジュッソン写真集 カップル Pierre Jousson LE COUPLE 旧蔵者印 書き込みあり
同上 1965 ¥4,500
26. (仏) アッター写真集 F. マレ・ジョリ序文 約80写真 大判 銀紙装箱入 Balland社 1971
限定番号入 稀少 ¥15,000

※8月8日～8月13日 世界文字フェア協賛「書物の文化—世界の古書大即売会」開催に出店招待券付 共同豪華
目録発行、送料共 350円(切手可)でお送り申し上げます。

千畷 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
文藻堂

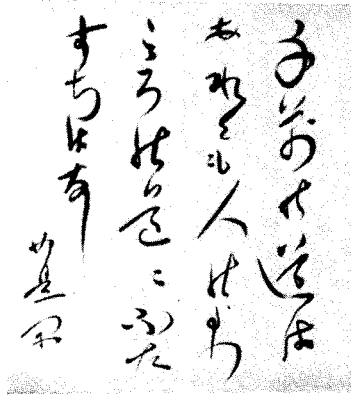
電話(5基)二三二一九一四
振替 京都 八一六一五

1 中塚一碧楼 句幅 絹装(本紙33×133種) 桐箱入 一〇〇,〇〇〇円

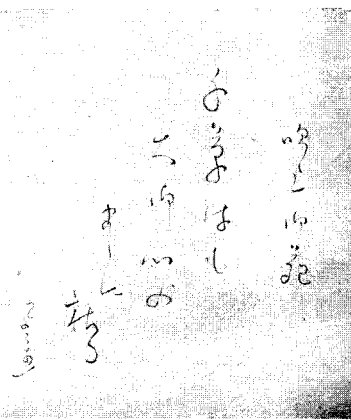


淀川を渡り西へ冬ゆふべ空の星 一碧楼画

2 長谷川如是閑 色紙 絹本 二五,〇〇〇円

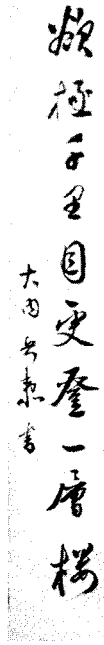


3 富安風生 色紙 金地 三〇,〇〇〇円



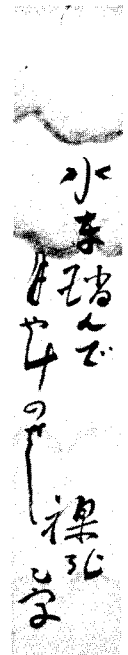
吹山御苑 千草ばも大御心のまに枯る

4 大内兵衛 短冊 欲極千里目更登一層楼

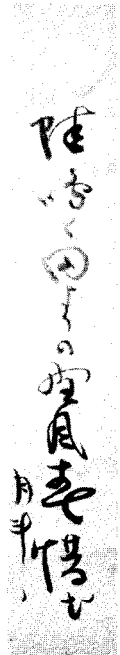


一五,〇〇〇円

5 大須賀乙字 短冊 水車踏んで月やけのせし裸哉 一五,〇〇〇円



6 青木月斗 短冊 蛙鳴く田よりの野風春惜む 一三,〇〇〇円



7 馬場孤蝶 短冊 赤る人もよき夢あれや宝船 一三,〇〇〇円



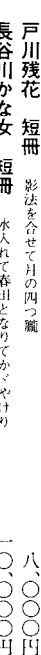
8 橋本多佳子 短冊 蓮花火夜の髪梳きて長崎に 三五,〇〇〇円



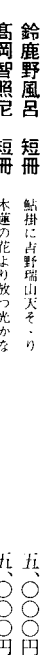
9 星野立字 短冊 月代に雲うつくしくとへのへば 二二,〇〇〇円



10 大町桂月 短冊 城あとか権兵衛むきの種をまく 一〇,〇〇〇円



11 戸川残花 短冊 影法を合せて月の四つ腕 八,〇〇〇円



12 長谷川かな女 短冊 水入れて春田となりてかやけり 一〇,〇〇〇円



13 伊藤松宇 短冊 大阪の人をかくまふ蚊遣哉 五,〇〇〇円



14 鈴鹿野風呂 短冊 鮎掛に占野瑞山天をり 五,〇〇〇円



15 高岡智照尼 短冊 木蓮の花より放つ光かな 五,〇〇〇円



〒602 京都市左京区田中大久保町22
(東大路電交差北)

山崎書店

電話(〇七五) 七二一七二四八
振替 京都 〇一八二二六

- 1 支那上代論研究 金原省吾 岩波書店 大13 九、八〇〇
- 2 浮世絵の研究 全三冊 藤懸静也 雄山閣 昭18 四、〇〇〇
- 3 大和絵史研究 下店静市 富士房 昭19 八、五〇〇
- 4 石澤 八大山人 永原織治解説 主文社 昭36 六、〇〇〇
- 5 惺々眺斎名画集 東洋美術協会 大10 五、〇〇〇
- 6 鱗作素描集 石版二〇 赤松麟作 昭15 五、〇〇〇
- 7 柳里恭鳥類譜 二二一 西澤笛歌編 昭3 五、〇〇〇
- 8 硝子絵 内田実 双森社 昭17 三、〇〇〇
- 9 芳崖と雅邦 梅澤精一 純正美術社 大9 三、〇〇〇
- 10 西澤笛歌百花画帖 大判 光村推古書院 昭51 六、〇〇〇
- 11 広重 内田実 岩波書店 昭53 二五、〇〇〇
- 12 ジャコメッティとともに 矢内原伊作 昭46 二五、〇〇〇
- 13 榊原房草筆 極美 津田青楓 中央公論社 昭16 二〇、〇〇〇
- 14 工房雜記 恩地孝四郎 興風閣 昭17 八、〇〇〇
- 15 巨勢小石七十二侯名花畫帖 徳力富吉郎編 昭55 五、〇〇〇
- 16 劉生画集 本版図入 武者小路実篤編 平凡社 昭57 二〇、〇〇〇
- 17 近代絵画と文画の知性 岸井雲坪の芸術 柳亮 昭49 三、〇〇〇
- 18 藍の花 美術紙 高橋正隆 文華堂 昭48 三、〇〇〇
- 19 会津八一の洋画 大版定全二冊 中公美術社 昭40 三、〇〇〇
- 20 リトグラフ 200年の歴史と技法 小学館 昭60 二〇、〇〇〇
- 21 シヤロット 選擇傳統創造 日本芸術との接觸 昭16 六、〇〇〇
- 22 グローブ七芸術の起源 岩波書店 大14 八、〇〇〇
- 23 鑑定 支那陶磁全書 元版和装 全四冊 昭46 八、〇〇〇
- 24 漢代 支那陶磁全書 本版図入 全四冊 昭40 八、〇〇〇
- 25 儀式 支那陶磁全書 長広敏雄 中公美術社 昭46 八、〇〇〇
- 26 中国製紙技術史 佐藤武敏著 平凡社 元六 六、〇〇〇
- 27 東洋古陶磁 小山富士夫 美術出版社 元六 五、〇〇〇
- 28 日本紙 全二冊 毎日新聞社 昭51 四、〇〇〇
- 29 増和紙要録 美紙類多 竹田悦堂 文海堂 昭46 二〇、〇〇〇
- 30 国立博物館ニユース縮刷版(一) 265頁S22 昭47 二〇、〇〇〇
- 31 芸用人体解剖図譜 揃18 函 同委員会 昭18 一八、〇〇〇
- 32 長春閣蔵品展覧図録 痛少 昭11 三、〇〇〇
- 33 神戸川崎男爵蔵品入札日録 昭3 八、〇〇〇

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(〇七五) 三五一九三六三
振替 大阪 七二一三五一

- 展覧会目録 各一冊 1,500円
- 〇 50年記念創立 貴重史料展覧目録
- 〇 郷土教育展覧会出品目録
- 〇 朝知成氏 孝経著本展覧目録
- 〇 京都重宝新資料展覧目録
- 〇 書法及奈良絵本展覧目録
- 〇 孝経展覧目録
- 〇 忍術資料文獻目録
- 〇 關東南北朝史料展覧目録
- 美術展覧会図録目録 各一冊 1,000円
- 〇 東南アジアの陶磁
- 〇 京の染織美
- 〇 大東洋美術展
- 〇 淋派
- 〇 平家納経と嚴島の秘宝
- 〇 徳川美術館名品図録
- 〇 日本国宝展目録
- 〇 茶道名宝展(五島)
- 〇 中国古代理青銅器展
- 〇 日本意匠
- 〇 細川ガラシャ展
- 〇 経塚遺宝展
- 〇 中国古代理美術展
- 〇 桃山時代の工芸
- 〇 中国明清美術展覧目録
- 〇 東洋陶磁展
- 〇 救世熱海美術館名宝展
- 〇 正倉院展57年
- 〇 スキタイとシルクロード美術展
- 以下各一冊 500円
- 〇 松平不味公遺愛名宝展
- 〇 中国美術五千年展
- 〇 富本憲吉展
- 〇 信樂古陶
- 〇 瀬戸のやきもの
- 〇 越前のやきもの
- 〇 古丹波焼
- 〇 新発見佐野乾山展
- 〇 中国名陶百選展
- 〇 宋磁名品展
- 〇 古九谷
- 〇 室町時代書画
- 〇 桃山の美展
- 〇 古伊万里陶展
- 〇 宗像大社秘宝展
- 〇 中国殷周銅器展
- 〇 織抄
- 〇 オリエント美術展
- 〇 南蛮美術展
- 〇 中国殷周銅器展
- 〇 押出仏と仏像型
- 〇 倉敷美術館
- 〇 京博記念特別展覧会目録
- 〇 南北朝文化展
- 〇 正倉院展覧目録
- 〇 俵屋宗達展
- 〇 加賀百万石国宝と茶道名宝展
- 〇 オリエント七千年展
- 〇 知恩院秘宝特別展
- 〇 室町時代の美術
- 〇 日本の説話書
- 〇 大坂の名宝
- 〇 青森県民芸品図録
- 〇 隨園の美術
- 〇 ロシア秘宝展
- 〇 雪国の民芸展
- 〇 大分の庶民図録
- 〇 大三島武具展
- 〇 埋れていた奈良の都平城宮
- 〇 西大寺の宝物
- 〇 仏教美術と花器展
- 〇 神仏融合美術
- 〇 邪馬台国展
- 〇 日本の黎明
- 〇 日本文化と湖国の歴史
- 〇 江戸明治期の小袖
- 〇 太宰府の文化財
- 〇 世界のガラス絵展
- 〇 徳川家康展
- 〇 絵画
- 〇 日本のあけぼの展
- 〇 アジアアフリカの美術
- 〇 鎌倉時代の美術
- 〇 菅原通済愛蔵美術展
- 〇 平安時代の美術
- 〇 ベルンヤ陶美展
- 〇 日本の土器
- 〇 土器はにわ展
- 〇 東洋古陶磁
- 〇 昔の旅(埼玉博)
- 〇 埼玉博展示品図録

〒604 京都市中京区寺町通三条北

其中堂

電話(〇七五) 二二二一九七一
振替 京都 二二五三八

- 1 禅林句集(銅版和綴) 貝葉書院 三、五〇〇
 - 2 訓註 禅林句集 柴山全慶 昭62 一、五〇〇
 - 3 禅画 クルト・ブラッシュ 昭37 一六、〇〇〇
 - 4 禅と美術(覆刻版) 久松真一 昭 一五、〇〇〇
 - 5 東洋的無 久松真一 昭17 二〇、〇〇〇
 - 6 東洋的無 久松真一 著作集 昭45 三、〇〇〇
 - 7 経録抄 久松真一 著作集 昭48 四、八〇〇
 - 8 孔子及孔子教 服部宇之吉 大6 一、五〇〇
 - 9 天平及文化 鎌田敬四郎 昭3 一、五〇〇
 - 10 支那仏教史(岩波全書) 宇井伯寿 昭11 一、五〇〇
 - 11 宗教学入門 エリアーデ、キタガワ 昭44 一、五〇〇
 - 12 宗教論 土田杏村 昭7 一、〇〇〇
 - 13 宗教哲学序論 波多野精一 岩波書店 昭17 一、五〇〇
 - 14 宗教哲学の根本問題 宮本武之助 東京堂 昭43 一、五〇〇
 - 15 宗教の真諦 ルドルフ・オイケン 文明書院 大10 一、八〇〇
 - 16 宗教的信仰と実践 青柳栄司 人文書院 昭9 一、八〇〇
 - 17 信仰の遺産 線有 岩下壮一 岩波書店 昭19 二、八〇〇
 - 18 宗教的自然観の展開 見返久 家永三郎 創元社 昭17 一、五〇〇
 - 19 日本人の遺言状 桑田忠親 創芸社 昭19 一、八〇〇
 - 20 新約全書解題 世界聖典全集 昭5 二、〇〇〇
 - 21 旧約全書解題 世界聖典全集 昭5 二、〇〇〇
 - 22 旧約外典 世界聖典全集 昭5 二、〇〇〇
 - 23 日本宗教大講座 23/25 合冊 仮製本 新約聖書・旧約聖書・旧約外典・讚美歌小本 一、五〇〇
 - 24 日本聖公会・日本バプテスト教会・日本基督教會・日本メソヂスト教会・日本組合基督教會・日本美普教會・アラリアンズ教會・ハリストス正教會・自由メソヂスト教會・ホーリネス教會 二、五〇〇
 - 25 日本宗教文学・日本宗教建築史・宗教音楽・天台声明・真言宗声明・宗教風俗・仏書刊行史 四、〇〇〇
- ※本誌前号の目録におきまして、一行目に次の見出しが脱落しておりました。お詫びして訂正いたします。
「日本歴史新書(至文堂)各一、五〇〇円」

御注文は各書店へ

千602 京都市上京区烏丸通今出川上ル
同志社正門前

電話(〇七五)四五一〇五三三
振替 京都 三一九一四八

沢田書店

- 1 歴史の京都 全六巻揃 函付 淡交社 昭45 三,〇〇〇
- 2 京おんな 京都新聞編集 京都新聞 昭35 一,〇〇〇
- 3 女人歳時記 萩原井泉水 創元社 昭42 一,〇〇〇
- 4 女入歳時記 岡部伊都子 河原春社 昭42 一,〇〇〇
- 5 互選集 久保田芳太郎・久米雄 文芸春秋社 昭21 一,〇〇〇
- 6 竹 祇王寺句集 高岡智照尼 白川書院 昭53 一,〇〇〇
- 7 白描 歌集 明石海人 改造社 昭14 一,〇〇〇
- 8 柳小紋 鏡木清方 欽傍書房 昭18 一,〇〇〇
- 9 連翹 鏡木清方 芸艸堂 昭21 一,〇〇〇
- 10 浜のわかれ 浪漫文庫 竹久夢二ノベル書房 昭49 一,〇〇〇
- 11 歌舞伎事典 講談社 昭54 一,〇〇〇
- 12 写真集女形玉三郎 篠山紀信 講談社 昭52 一,〇〇〇
- 13 微苦笑芸術 久米正雄 新汐社 昭13 一,〇〇〇
- 14 すみだ川 永井荷風 初版 扶桑書房 昭21 一,〇〇〇
- 15 悪太郎 尾崎士郎 黎明社 昭10 一,〇〇〇
- 16 秋の帖 室生犀星 全国書房 昭18 一,〇〇〇
- 17 藤々雅子遺稿抄 安倍能成編 初版 岩波書店 昭31 一,〇〇〇
- 18 追想茶川龍之介 中野妙子記 初版 筑摩書房 昭50 一,〇〇〇
- 19 坂口安吾文がたみ 小野竜太郎 宝文館 昭46 一,〇〇〇
- 20 残夢三昧 内田百閒 初版 二笠書房 昭44 一,〇〇〇
- 21 現代作家論 平野謙 南北書園 昭22 一,〇〇〇
- 22 長靴をはいた猫 シェルベロ 澁沢初版 大和書房 昭48 一,〇〇〇
- 23 謎の引越少女 唐十郎 初版 学芸書林 昭45 一,〇〇〇
- 24 冒険と計算 武田泰淳 初版 講談社 昭41 一,〇〇〇
- 25 黄河海に入りて流る 武田泰淳 勁草書房 昭45 一,〇〇〇
- 26 彼岸と主体 黒田喜夫 初版 河出書房 昭47 一,〇〇〇
- 27 きりしたん 大名大友宗麟 白水甲二 春秋社 昭16 一,〇〇〇
- 28 新版現代文学辞典 三木清編 函付 日本評論社 昭21 一,〇〇〇
- 29 デイタイ著作集 四巻 歴史的理性批判 創元社 昭17 一,〇〇〇
- 30 日本文化私観 ブルノワト 森佛郎訳 明治書房 昭17 一,〇〇〇
- 31 唯物観より見る経済学史 住谷悦治 弘文堂 昭2 一,〇〇〇
- 32 資本論入門 全五冊 河上肇 世界評論社 昭21 一,〇〇〇
- 33 経済学大総 上下二冊 河上肇 改造社 昭22 一,〇〇〇

千600 京都市下京区寺町通仏光寺下ル

電話(〇七五)三五二一九六三三
振替 京都 四一三四七一

三密堂書店

- 1 周易の研究 全三冊 上村才六編 天行居 大12 八,〇〇〇
- 2 周易秘事 松島軒津高編 中川蔵 延宝6 二,〇〇〇
- 3 周易講義 新田與著 松雲堂 大7 六,〇〇〇
- 4 周易奥秘鑑 全三冊 山岸弥平著 一書堂 大7 二,〇〇〇
- 5 協紀辨方書 全八冊 上海錦章圖書版原本 民国10 一五,〇〇〇
- 6 易学通解 全二冊 村田徹典編 開文堂 明27 三,〇〇〇
- 7 趣味の易典 神鞭吞洲著 稲華堂 昭9 五,〇〇〇
- 8 現代易占講話 前島熊吉著 星文館 昭10 五,〇〇〇
- 9 五術古い全書 張・佐藤共著 洛陽書房 昭47 三,〇〇〇
- 10 個性学入門 三命方象著 洛陽書房 昭51 三,〇〇〇
- 11 算易そろばん占ひ 高橋北堂著 心友社 大10 二,〇〇〇
- 12 人間一生の独占ひ 安東竜山編 神易館 昭5 三,〇〇〇
- 13 卜筮早考 平子篤著 星文堂 文化10 一,〇〇〇
- 14 占法要略 全二冊 高松貞陵著 河内屋 弘化4 四,〇〇〇
- 15 墨色判断秘訣 朝々木高明著 春江堂 明44 四,〇〇〇
- 16 推命学の革新 田中胎東編 推命学会 明45 五,〇〇〇
- 17 気学入門 村田徹典著 推命学会 昭4 八,〇〇〇
- 18 九星極意独判断 中村白誠著 松陽堂 明41 四,〇〇〇
- 19 親相大博士 石童子著 性相学会 大3 三,〇〇〇
- 20 形貌学講義 石童子著 性相学会 昭2 三,〇〇〇
- 21 性相の秘鍵 桜井・高木合著 萬里閣 昭5 二,〇〇〇
- 22 人相の秘訣 水野南翁軒著 遠藤書肆 明25 五,〇〇〇
- 23 相法秘受解 出雲又太郎著 一誠社 昭25 一,〇〇〇
- 24 人と盛衰 小西久遠著 一誠社 昭7 一,〇〇〇
- 25 凶解手相学 永島真雄著 実業之日本社 昭3 一,〇〇〇
- 26 手相即坐考 蘆塚奇撰 敦賀屋 文政2 二,〇〇〇
- 27 謙吉便覧 全二冊 前田東著 文政6 二,〇〇〇
- 28 陰陽方位便覧 全四冊 森重勝輯 齊政館 文化11 七,〇〇〇
- 30 方位の神秘 伊藤愛山著 実業之日本社 昭5 二,〇〇〇
- 31 家相方位建築宝典中巻 春江堂 昭5 二,〇〇〇
- 32 地相家相店相方鑑 松平・本間共著 星文館 昭12 三,〇〇〇

千606 京都市左京区田中里ノ前町55

電話(〇七五)七八一三三六
振替 京都 八一四二五二六

福田屋書店

- 1 懐往事談(附新聞紙実歴) 福地源一郎 明27 三,〇〇〇
- 2 自彊瑣談 平田東助 明44 四,〇〇〇
- 3 比律竅跋渉 土屋元作 大5 四,〇〇〇
- 4 函館北洋漁業に素縁する犯罪研究 司法法研究 昭4 四,〇〇〇
- 5 婦人世界(増刊助教授夫人の罪) 遊田多聞 昭8、2月号 三,〇〇〇
- 6 ルノイ自伝赤裸の人間 埃利彦訳 明45 三,〇〇〇
- 7 特殊部落研究号(民族と歴史二巻1号) 吉川吉治郎 大8 三,〇〇〇
- 8 大和同志会回顧録 藤範晃 昭17 六,〇〇〇
- 9 児童融和教育教案 藤範晃 昭6 二,〇〇〇
- 10 明治大正文学研究 1、20号迄 東京堂 大10 二,〇〇〇
- 11 地上 第三部 静かなる暴風 島田清次郎 昭4 二,〇〇〇
- 12 静夜曲 初版 吉田綾二郎 新聞社、カバ 昭4 四,〇〇〇
- 13 欧る 六版 改造社 平林たい子 昭5 四,〇〇〇
- 14 何が彼女をそうさせたか 藤森成吉 改造社 昭4 四,〇〇〇
- 15 脚本梨の葉集 四版 岡本綺堂 春陽堂 箱美 大8 三,〇〇〇
- 16 ユイモアと奇譚 創刊号 昭14、1月 三,〇〇〇
- 17 探偵小説 昭6、9月創刊号 博文館 二,〇〇〇
- 18 苦楽 大14、5月号 二,〇〇〇
- 19 文芸倶楽部 昭6、10月・昭7、7月 美 各二,〇〇〇
- 20 少年譚海 昭10、9月 日次口絵破損有 二,〇〇〇
- 21 コクラン俳優芸術論 中川竜二 昭9 三,〇〇〇
- 22 新築地劇団決算報告方号 千田是也著 昭5 二,〇〇〇
- 23 婦人画報 映画と料理号 昭5 二,〇〇〇
- 24 科学画報 特輯迷信の科学的解剖 昭5、1月 二,〇〇〇
- 25 北支事変画報 1、35輯30冊 昭12、7月迄 八,〇〇〇
- 26 弓術捷徑 高橋信太郎 昭12、7月迄 八,〇〇〇
- 27 蒐集 京都寸葉 128号、180号迄不揃 39冊 五,〇〇〇
- 28 書道学習帖 全24冊揃 雄山閣 昭10 二,〇〇〇
- 29 手芸双書袋物細工法 寺西緑子 昭5 二,〇〇〇
- 30 茶之湯道具寸法図会 啓草社 昭4 四,〇〇〇
- 31 日本古美術案内 上下 滝精一 昭6 四,〇〇〇
- 32 改正日本薬局方 官報号外明39、7月 大9 各二,〇〇〇
- 33 ローマ字国字論 ローマ字文研究 出丸章郎 昭8 各二,〇〇〇

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五八八
振替 京都 五一三三二二六

1	ボードレール 悪の華註釈 京大人文研	昭61	五〇〇〇
2	(英)文学史	昭5	八五〇〇
3	(英)文学論・詩人論 全2	昭7	一五〇〇〇
4	(英)小・ハーンの手紙 E・ビスランド	昭二	二〇〇〇〇
5	小泉八雲 英文学史 田部・落合・西崎	昭26	四〇〇〇
6	起源時代の英国劇 木方庸助	昭28	二五〇〇〇
7	現代英文学の人間像 吉武好孝	昭41	六五〇〇
8	現代イギリス文壇批判 矢本貞幹	昭41	四五〇〇
9	イギリス文学とキリスト教 倉長 真	昭40	六五〇〇
10	キリスト教と文学 久保田暁一	昭50	二〇〇〇〇
11	基督教の文学観 石田憲次	昭24	九五〇〇
12	ジョンソン博士とその群 石田憲次	昭8	二五〇〇〇
13	英文学に現れたる花の研究 石川林四郎	昭13	一五〇〇〇
14	星と東西文学 野尻抱影	昭28	八〇〇〇
15	英国風物談 スウィート 飯島東太郎	昭7	三〇〇〇〇
16	英米風物資料辞典 井上義昌	昭47	五〇〇〇〇
17	日本における外国文学 上下 島田謙二	昭50	一五〇〇〇
18	明治文学と英文学 海老池俊治	昭43	二〇〇〇〇
19	愛蘭文学史 勝田孝興	昭18	三〇〇〇〇
20	アイルランド演劇研究 山本修二	昭43	七〇〇〇〇
21	象徴劇如意の郷 イエイツ 岡倉・武井	昭14	一四〇〇〇
22	シンク戯曲全集 松村みね子	大12	一五〇〇〇
23	ダンセニイ戯曲全集 松村みね子	大10	一五〇〇〇
24	ベケット作品集 9冊 白水社	昭43	三〇〇〇〇
25	ユートピア研究 トマス・モア 伊達功	昭40	七八〇〇
26	白魔 浮城ウヰット ウェブスター 八木毅	昭24	三〇〇〇〇
27	マルタ島のユダヤ人 マーロウ 水田巖	昭24	五八〇〇
28	シエイクスピア全集 全5 白水社	昭60	二五〇〇〇
29	SHAKESPEARE IN JAPAN MOTOYODA	昭15	二五〇〇〇
30	AN HISTORICAL SKETCH 日本演劇学会	昭26	六五〇〇
31	シエイクスピア筆蹟の研究 大塚高信	昭24	六五〇〇
32	シエイクスピアと独逸精神 全2 菅野徳助	昭16	七五〇〇
33	悲劇オセロ 菅野徳助	昭42	四八〇〇
34	漱石のオセロ 野上豊一郎	昭5	一五〇〇〇

35	ジョウゼフ・アンドルーズ(上) フォールダング	昭23	三、五〇〇
36	ジェイン・オースティン論考 海老池俊治	昭43	一六、〇〇〇
37	カーラール論考 石田憲次	昭24	六、〇〇〇
38	GROWTH & SYSTEM OF THE LANGUAGE OF DICKENS IYANAMOTO	昭25	五、〇〇〇
39	フロス河畔の水車場 E・エリオット	昭25	一〇、〇〇〇
40	エイモス・バートン師の不幸(1)(2) 藤好美	昭22	五、〇〇〇
41	エゴイスト(自我狂) 上下 野野来	昭13	二五〇〇〇
42	ウォルター・ペイター 工藤好美	昭2	三、〇〇〇
43	ウォルター・ペイターの研究 植木鍊之助	昭2	三、〇〇〇
44	トマス・ハーデー研究 橋本修	昭35	五、五〇〇
45	ハーデー文学の研究 増補版 大沢 衛	昭42	四、八〇〇
46	幻の人 スチヴンソン 戸川秋骨	昭26	三、八〇〇
47	バラントレイ家の世嗣 中野好太郎	昭26	六、八〇〇
48	遍歴の王子 ステイヴンソン 小川和夫	昭24	七、八〇〇
49	バーナード・ショウ真髓 加藤朝鳥	昭15	五、五〇〇
50	南の幻 コンラッド 本多顯彰	昭30	六、八〇〇
51	ガザに言いて ハックスレー 平田禎木	昭10	六、〇〇〇
52	神童 ハックスレー 尾島庄太郎	昭10	一八、〇〇〇
53	英詩文叢攷 八木冬三	昭9	一八、〇〇〇
54	英詩から見た和歌形式論 深瀬基寛	昭31	三、〇〇〇
55	近代英詩法 繁野政留	昭10	三、〇〇〇
56	イギリス浪漫派詩人 加納秀夫	昭26	四、八〇〇
57	ペーオルフ 附ライオンとクワガタ 長埜 盛	昭41	五、〇〇〇
58	ミルトン論考 越智文雄	昭38	二五〇〇〇
59	言論と自由 ミルトン 上野 石田	昭24	七、〇〇〇
60	ブレイク論稿 山宮 允	昭4	五、〇〇〇
61	ブレイク論稿 保田正義	昭48	一五、〇〇〇
62	ブレイク論稿 小川二郎	昭50	一六、〇〇〇
63	ブレイク無心と経験の歌研究 伊東好次郎	昭41	六、八〇〇
64	きよいこころの歌 ブレイク 田代三千穂	昭21	四〇〇〇〇
65	自由解放の詩人バイロン バイロン 林 房雄	昭28	二〇〇〇〇
66	ドーン・ジュアン 東京帝大英文学会	昭12	四、八〇〇
67	シェリ研究 シェリイ 阿部知二	昭12	四、八〇〇
68	詩と恋愛 シェリイ 佐藤 清	昭13	六、〇〇〇
69	キーツの芸術 キーツ 川村 泉	昭22	五、八〇〇
70	感覚より思索へ キーツ 岡沢 武	昭38	六、五〇〇
71	詩聖テニスン 徳谷正雄	昭13	三、五〇〇
72	哀詩イノック・アーデン 帆足理一郎	大10	三、八〇〇

74	グンテ・ロゼツァイの研究 小日向定次郎	大14	一五、〇〇〇
75	クリステイナ・ロゼツァイ ルーイス 竹友藻風	大13	二五、〇〇〇
76	現代詩論 ルーイス 深瀬基寛	昭30	六、〇〇〇
77	詩をよむ若き人々のために 安藤正珠	昭35	二、〇〇〇
78	エマソンとその辺縁 石田憲次	昭40	八、八〇〇
79	エマソンとオホヒューマニズム 志賀 勝	昭23	三、五〇〇
80	エマソン日記抄 富田 彬	昭23	三、五〇〇
81	七破風の屋敷 ホーソン 鈴木武雄	昭39	四、〇〇〇
82	病院横町の殺人犯 ポオ 森 鷗外	昭24	一〇、〇〇〇
83	ソロー研究 東山正芳	昭36	五、五〇〇
84	近代文学ホイトマンの運命 亀井俊介	昭48	一五、〇〇〇
85	ヘミングウェイ全集 全9 三笠書房	昭49	三六、〇〇〇
86	海の小さな土地 コルドゥエル 橋本福夫	昭28	二、八〇〇
87	アメリカの息子全2 フライト 橋本福夫	昭28	三、〇〇〇
88	疑わしい戦い 上・下 龍口直太郎	昭39	四、〇〇〇
89	月は沈みぬ スタインベック 龍口直太郎	昭27	二、五〇〇
90	おから部落 スタインベック 瀬沼茂樹	昭27	二、五〇〇
—岩波文庫—			
91	カンタベリー物語(上) チョーサー 榎井	昭48	三、〇〇〇
92	桶物語・書物戦争 スウィフト 深町弘三	昭43	四、八〇〇
93	トム・ジョウンズ 全4 フォールディング 朱 華田 貞雄	昭43	六、〇〇〇
94	エリヤ随筆 ラム 戸川秋骨	昭15	三、〇〇〇
95	虚栄の市 全6 サツカレ 三宅幾三郎	昭14	四、〇〇〇
96	床屋コックスの日記 全4 平井程一	昭26	一〇、〇〇〇
97	D・コパフィールド 全4 市川 中村	昭25	四、〇〇〇
98	南海千一夜物語 ステイブンソン 中村	昭25	三、五〇〇
99	若い人々のために 岩田良吉	昭12	三、八〇〇
100	旅は驢馬をつれて 吉田健一	昭26	三、八〇〇
101	鮫風 コンラッド 三宅幾三郎	昭12	二、五〇〇
102	アラン島 シング 崎崎正見	昭12	四、〇〇〇
103	わが心の記 チュフォイス 寿岳しづ	昭14	三、〇〇〇
104	ユリガイズ 全5 ジョイス 森田・瀧川	昭11	二五、〇〇〇
105	若き日の芸術家の自画像 名原広三郎	昭12	四、五〇〇
106	マンスフィールド短編集 崎山正毅	昭11	四、五〇〇
107	ホキットマン詩集 草の葉 有島武郎	昭11	四、〇〇〇
108	奇妙な幕間狂言 オニール 井上・石田	昭14	三、〇〇〇

赤尾照文堂古書通信(国文歴史)発行中

キク才書店

電話(〇七五)一三二一七六三四
振替 京都 八一七六四〇

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

31	遠野町誌(宮城)	昭59	三、八〇〇	復刻版
30	奥羽山脈の研究―その自然と開発 宮川善造編	昭53	六、八〇〇	
29	羅白町史 北海道日梨郡羅白町役場	昭45	八、〇〇〇	
28	礼文町史 北海道礼文町役場	昭47	六、五〇〇	
27	北海道蝦夷語地名解 永田方正	昭41	二、〇〇〇	
26	アイヌ絵志 越崎宗一	昭34	五、〇〇〇	
25	蝦夷と天ノ朝の研究 菊地山哉 東京史談会	昭41	六、八〇〇	
24	蝦夷島奇観補記 松前志摩守 和装	昭14	七、五〇〇	
23	北方未公開古文書集成 二十冊 叢文社	昭54	六、〇〇〇	
22	北海道志 開拓使編 二冊 復刻版	昭48	三、〇〇〇	
21	千島アイヌ 鳥居龍藏 背少痛 吉川弘文館	昭36	四、〇〇〇	
20	藩風と古城 大判和装巻入 毎日新聞社	大9	一、〇〇〇	
19	上代歴史地理新考 二冊 井上通泰	昭16	一、八〇〇	
18	歴史の町並み事典 観光資源保護財団編	昭56	六、三〇〇	
17	日本の風土―心のふるさと 民俗文化研究所編	昭50	八、〇〇〇	
16	郷土史研究の調査と方法 日本歴史地理学会編	昭19	四、五〇〇	
15	郷土史研究事典 歴史教育研究会 復刻版	昭52	七、五〇〇	
14	郷土史の研究 郷土史研究講座 合本五冊	昭	三、〇〇〇	
13	日本地図帖地名索引 小川琢治	大12	一、〇〇〇	
12	全国府県地図 付新旧対照市町村一覧 府県別36冊 東京・大阪都府県 別紙(京都府 別紙)	明40	二、〇〇〇	
11	総合地方史大年表 人物往来社	昭42	九、五〇〇	
10	日本地名大辞典 渡辺光他編 七冊揃	昭42	三、五〇〇	
9	帝国地名大辞典 富木時次郎 四冊揃	明35	三、〇〇〇	
8	交通地理形態論 淡川康一	昭9	四、〇〇〇	
7	固定地理書の縦の研究 日本地部	昭7	五、〇〇〇	
6	地域とその文化と自然 石田寛教授退官記念	昭57	一、五〇〇	
5	西村嘉助先生追悼記念地理学論文集	昭55	一、〇〇〇	
4	人文地理学論叢 織田武雄先生退官記念	昭46	一、五〇〇	
3	辻村太郎先生古稀記念地理学論文集	昭36	四、〇〇〇	
2	田中啓爾先生記念 大塚地理学会論文集	昭25	一、〇〇〇	
1	地理学講座 12冊揃	昭5	二、〇〇〇	
32	月刊・越中郷土研究(創刊)終刊)復刻版	昭57	六、八〇〇	
33	岐阜県史 通史篇・史料篇 十五冊付録六	昭40	三、〇〇〇	
34	高山市史 正篇(二冊)続篇(三冊)	昭56	三、〇〇〇	
35	羽島市史(岐阜県)五冊 羽島市役所	昭57	五、〇〇〇	
36	郡上市史(岐阜県) 復刻版	昭55	一、四〇〇	
37	福井県史 四冊 復刻版 東洋書院	昭55	四、〇〇〇	
38	福井藩史事典 鈴木準道	昭52	六、八〇〇	
39	福井県郷土誌 人物編民間伝承編 復刻版	昭52	六、五〇〇	
40	福井県郷土誌 福井市立美科女学校 復刻版	昭52	六、三〇〇	
41	若狭・遠敷郡誌 郡教育会編 復刻版	昭47	八、五〇〇	
42	桑名市史 本編(三重県)市教育委員会	昭49	二、〇〇〇	
43	尾鷲市史(三重県) 二冊	昭46	一、六〇〇	
44	伊賀町史(三重県) 町役場	昭54	一、〇〇〇	
45	玉城町史 三重県郷土資料双書 三冊	昭58	二、〇〇〇	
46	北勢町川原郷土史	昭48	三、五〇〇	
47	近畿日本義書 近鉄五十周年記念出版 十冊揃	昭36	七、〇〇〇	
48	近畿の名蹟 辰馬六郎 十冊揃	昭3	九、八〇〇	
49	近江伊香郡志 復刻版 三冊函入	昭47	五、〇〇〇	
50	余呉村の民俗(滋賀県) 東洋大民俗研	昭44	五、〇〇〇	
51	朽木村志(滋賀県) 同村教育委員会	昭49	七、五〇〇	
52	京都府誌 地図和装二冊巻入	大4	一、五〇〇	
53	平安遺文 竹内理三編 十五冊揃	昭55	六、〇〇〇	
54	京都庶民生活史 他三篇 C D I編	昭48	四、五〇〇	
55	京華要誌 和装三冊 色刷木版挿絵多数	明28	二、五〇〇	
56	我等の郷土 京都小学校教育研究会編	昭7	五、八〇〇	
57	京都市史 編年綱目 三冊 市役所	昭23	三、〇〇〇	
58	与謝郡誌(復刻版)名著出版 二冊	昭47	三、〇〇〇	
59	加悦町誌 与謝郡加悦町役場	昭49	八、五〇〇	
60	加佐郡誌(復刻版) 名版出版	昭47	五、八〇〇	
61	京都府南・北桑田郡・船井郡誌(復刻版)	昭47	一、八〇〇	
62	縮刷版・みずほ 京都府瑞穂町	昭36	三、八〇〇	
63	篠村史 林屋辰三郎・上田正昭(編)	昭52	二、〇〇〇	
64	山城紀伊郡志 毛筆草稿 末筆補注	明15	三、〇〇〇	
65	京都府紀伊郡志・伏見町誌(復刻版)	昭47	一、八〇〇	
66	乙訓郡誌(復刻版) 臨川書店	昭59	六、五〇〇	
67	長岡町二千年 京都府乙訓郡	昭45	五、五〇〇	
68	大山崎史叢考 吉川池土郎 函欠	昭28	三、〇〇〇	
69	巨椋池干拓誌 巨椋池土地改良区事務所	昭56	六、〇〇〇	
70	郷土戦史 二冊 京都連隊区将校団	昭3	一、八〇〇	
71	明治文化と明石博高翁 田中緑江編	昭17	六、五〇〇	
72	片山市長とその事蹟 京都市	昭13	六、〇〇〇	
73	大阪府全誌 井上正雄 五冊揃(15頁落丁)	大11	六、〇〇〇	
74	大阪周辺の村落史料 五冊揃	昭30	三、〇〇〇	
75	浪速双書 摂陽奇観篇 元版 五冊	昭2	三、〇〇〇	
76	西撰大観 仲彦三郎編 三冊 大判和装	明44	四、〇〇〇	
77	高槻市史 既刊分六冊 高槻市役所	昭52	六、〇〇〇	
78	箕面市史 八冊揃 市史編纂委員会	昭39	三、〇〇〇	
79	枚方市史 十一冊揃	昭51	六、〇〇〇	
80	兵庫県市史(1-4) 原始〜近世II	昭49	四、〇〇〇	
81	宝塚市史(1-3) 通史篇 三冊	昭50	三、〇〇〇	
82	芦屋市史 本編 兵庫県芦屋市教委	昭31	七、八〇〇	
83	洲本市史 洲本市	昭49	六、八〇〇	
84	校補但馬考 桜井勉 復刻版	昭51	一、七〇〇	
85	出石雑誌・但馬雑誌 復刻版 合本二冊	昭60	八、五〇〇	
86	多可郡誌(兵庫県) 復刻版	昭60	一、四〇〇	
87	大和史料 奈良県編 二冊	大3	六、八〇〇	
88	大和志 全九冊 吉川弘文館	昭57	三、〇〇〇	
89	改訂 天理市 史料編(冊・冊) 上下付録	昭51	五、〇〇〇	
90	大和町市史 正・続 資料編 三冊	昭48	七、〇〇〇	
91	五条市史 二冊 大和郡山市役所	昭50	二、八〇〇	
92	こおりやま市 三郷町史 奈良県生駒郡町役場 二冊	昭51	一、五〇〇	
93	太地町史	昭54	六、〇〇〇	
94	瀬戸内海研究 全五冊・復刻版	昭50	二、七〇〇	
95	岡山市史 六冊揃・復刻版	昭50	二、七〇〇	
96	玉野市史 正統史料篇 二冊	昭45	六、〇〇〇	
97	尾道市史 二冊 背スレ	昭14	八、〇〇〇	
98	下関市史 原始〜中世 藩制〜明治前期 二冊	昭40	四、五〇〇	
99	津和野町史 一・二	昭45	一、六〇〇	
100	長崎市史 風俗編	大14	三、〇〇〇	
101	大分市史 市史編纂委員会編 二冊	昭56	三、〇〇〇	
102	薩藩の文化 鹿児島市役所	昭10	一、五〇〇	

当店の和書在庫目録(紙魚の便り・一九八七年版)少し残っております。送料込 四〇〇円(切手可)

八木書店古書部

電話(〇七五)八一三三九〇

千604 京都市中京区丸太町通千本西入南側

1	武田玄白書状花押入一通	貞享元	八〇〇〇
2	川村曼舟画伯筆消息一通封筒付	大4	五〇〇〇
3	李朝本錦宗写本王若日問云対臣伏聞云々	一五〇〇〇	五〇〇〇
4	短冊燭燭 書博士姪は伴易字家監護院西島居住	明4没	五〇〇〇
5	楽吉左衛門筆作品代受領書一紙	明初	三〇〇〇
6	釜師浄筆筆作品代受領書一紙	明初	三〇〇〇
7	袋沙師土田湖瀧軒筆受領書一紙	明初	三〇〇〇
8	永楽善五郎筆消息一紙大阪播磨屋敷宛	明初	三〇〇〇
9	指物師利齊筆受領書一紙	明初	三〇〇〇
10	塗師春齊筆受領書一紙	明初	三〇〇〇
11	塗師中村宗哲筆受領書一通	明初	三〇〇〇
12	雲錦筆 亀之図一紙虫入	明初	三〇〇〇
13	本錢屋仲村間木鑑札一個傷有	天保6	一五〇〇〇
14	大山祇神社甘木全澤二徳筆誕生易四柱一紙	明32	三〇〇〇
15	森田又平太筆花押入釣狐許状一紙	文政4	五〇〇〇
16	袋沙師蘭幣筆受領書一通	明初	三〇〇〇
17	永楽善五郎筆受領書一通	明初	三〇〇〇
18	千家十職中川紹益筆受領書一通	明初	三〇〇〇
19	京鶴土鶴線に関する報告一通小品	明初	三〇〇〇
20	魯益先生紳録墨抄長巻一卷箱書一路居士	大正	五〇〇〇
21	安田是雄筆一行茶掛一幅茶人壳茶翁門	大正	五〇〇〇
22	馬山人筆栗園記大形紙一枚肉筆	大正	八〇〇〇
23	葉書年賀木版面森口太郎	昭30	二五〇〇
24	葉書お年玉切手はり付川田順肉筆絵	昭28	五〇〇〇
25	葉書お年玉切手はり付澤湯久孝教授	昭27	二〇〇〇
26	葉書大脇義一 篠原助一 佐々木惣一	各一枚	二〇〇〇
27	葉書権尾辨匡 竹田益州 天野貞祐	各一枚	二〇〇〇
28	東武鉄道KK株主總會第18回報告	明39	三〇〇〇
29	直叙法印徳基筆花押選名書一通	慶応3	三〇〇〇
30	細川玄旨古今和歌集賀歌巻物一卷	五〇〇〇	五〇〇〇
31	泊如斎重修和博古図録6冊一帙欠本	清朝期	八〇〇〇
32	咩字義 高野板 虫入	承応頌刊	五〇〇〇
33	雜誌きよと商人が創刊の季刊誌67冊	昭30	一五〇〇〇

34	詩語淵源 鳴鳳	文化11	二〇〇〇
35	鈴録外書シツケ傷ボ口本軍法不審茂郷書	文化11	二〇〇〇
36	金銀萬相場 写本	江戸末	三〇〇〇
37	因明33過作法書備中理言政意筆	慶長5	五〇〇〇
38	詩集落葉 下村小太郎和英尚文	一五四	三〇〇〇
39	子爵 黒田源氏筆 横物一紙	三〇〇〇	三〇〇〇
40	中院通茂郷紳歌巻一卷通躬郵奥書	一五〇〇〇	三〇〇〇
41	短冊貞明 和歌難波江や	元禄頃	五〇〇〇
42	短冊田中松翠 近江俳人下総住	五〇〇〇	五〇〇〇
43	短冊古中木芽 三河吉田文化年 黒田清綱 各一枚	八〇〇〇	八〇〇〇
44	短冊土居無腸衆議員大阪商業會議所創設	大6没	一五〇〇〇
45	西山悦左衛門消息一通	三〇〇〇	三〇〇〇
46	市川米庵筆消息一通	三〇〇〇	三〇〇〇
47	広文類佛命御字訓釈聞記濃州中島郡法順筆	嘉永7	五〇〇〇
48	鈴木三郎筆頼支峰宛消息一紙	三〇〇〇	三〇〇〇
49	為恭画 僧と観音像 一紙	三〇〇〇	三〇〇〇
50	松浦筑後筆 花押判断書一通名乗付	天保11	五〇〇〇
51	短冊京松美善守清雄 真島分原園美蔭 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
52	短冊猪苗代謙庭連歌師大雲寺墓有	文化14没	五〇〇〇
53	短冊税所教子勤王家明34没 生源寺布烈 各一枚	二〇〇〇	二〇〇〇
54	短冊高野山菅長密権方外 芬陀利庵芬陀京人 各枚	三〇〇〇	三〇〇〇
55	短冊信州更科豊村文庫 猪熊夏樹国学者明45没各枚	三〇〇〇	三〇〇〇
56	短冊尾上梅翁雷俳句画賛	一五〇〇〇	三〇〇〇
57	短冊清宮秀堅下総の儒者著書有	明12没	三〇〇〇
58	短冊二条兼武傷有 齊藤大蔵大輔叙光 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
59	短冊尾州吹原宗正 岸田竹香百才女 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
60	短冊大徳寺細合喝堂 加茂岡本経邦 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
61	短冊出雲寺定信 博物館鑑定員下御霊社司	明19没	三〇〇〇
62	短冊大瀨権源丹波神主元大阪城代家老	大3没	三〇〇〇
63	短冊大瀨権源丹波神主元大阪城代家老	大3没	三〇〇〇
64	短冊大瀨権源丹波神主元大阪城代家老	大3没	三〇〇〇
65	短冊大瀨権源丹波神主元大阪城代家老	大3没	三〇〇〇
66	短冊大瀨権源丹波神主元大阪城代家老	大3没	三〇〇〇
67	短冊大瀨権源丹波神主元大阪城代家老	大3没	三〇〇〇
68	短冊諸史村上村正増 岩国人 楞伽道人 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
69	短冊中山忠能老女豊浦 裏名無し	三〇〇〇	三〇〇〇
70	短冊三宅篤語 伏見俳人	慶応3没	五〇〇〇
71	短冊小川千葉 益誦之図	昭46没	一五〇〇〇
72	短冊三井高業 為替御用商狂歌作者 寛政11没	一五〇〇〇	一五〇〇〇

73	短冊神田貞宣号蝶々子貞室門当世男著有	延宝頃	三〇〇〇
74	短冊飯田義明岡崎住	文政8没	五〇〇〇
75	短冊丹波亀岡最後の藩主安藤信正11枚	五〇〇〇	五〇〇〇
76	短冊西田一貫 京都俳人江戸住	文化頃	五〇〇〇
77	短冊藤原藩箱術家 虎虫 和田魚水京俳人明24各二枚	五〇〇〇	五〇〇〇
78	短冊山出公年 大阪俳人大4没 前川文嶺画大6没各一枚	五〇〇〇	五〇〇〇
79	短冊浦野吉胤 典業寮医師柳馬場小路	慶応3	五〇〇〇
80	短冊大國隆正 津和野藩士篤胤門	明4没	八〇〇〇
81	短冊俳号来芝 嵐三五郎	江戸期	一五〇〇〇
82	短冊素堂画 山本信孝江戸の儒者抱一門	天保頃	八〇〇〇
83	短冊橋守部 伊勢人江戸住	嘉永3没	一五〇〇〇
84	短冊龍野藩士桑形慶行 坂正臣 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
85	短冊守三風羅堂玉屑門播磨人	天保13没	八〇〇〇
86	短冊山本元順 丹波小出侯侍医	天明頃	一五〇〇〇
87	短冊外池文湖 江州鎌掛の俳人	明28没	三〇〇〇
88	短冊花守守年 讃岐丸亀俳人京都住	嘉永5没	一五〇〇〇
89	短冊日左	明13	五〇〇〇
90	短冊松村玉映 近江甲賀俳人医業	文化年	五〇〇〇
91	短冊一柳広固 千蔭門	文政年没	五〇〇〇
92	短冊大川広海春海門 徳阿。唱阿。 各一枚	三〇〇〇	三〇〇〇
93	短冊東龍亭春水短州門大阪俳人下鴨鴨伊勢守	各枚	三〇〇〇
94	短冊倉谷友千室町丸太町住医師季鷹門	文久3没	五〇〇〇
95	短冊松蔭五代友厚鹿児島藩士	明18没	八〇〇〇
96	短冊堤梅通竹屋町釜座住蒼虬門	元治元没	五〇〇〇
97	短冊瀨川露城義仲寺15世大阪俳人	昭3没	五〇〇〇
98	短冊胤太 本居宣長 蓮月尼様 各一枚	天保年	一五〇〇〇
99	短冊松本元風 一蝶門江戸俳人	安永頃	一五〇〇〇
100	短冊孤舟 俳人	天保3没	三〇〇〇
101	短冊頼山陽 虫入傷有	明14没	八〇〇〇
102	短冊中島黙池 京都俳人	文政12	八〇〇〇
103	短冊笹山貞屋 夜半亭御池衣棚医師	文政14	八〇〇〇
104	短冊斎藤藤翠 如泉門岡山俳人 傷有	五〇〇〇	五〇〇〇
105	短冊北村九起 京都俳人 東山芭蕉堂	八〇〇〇	八〇〇〇
106	短冊三好赤甫号月坡近江甲賀俳人	明5没	五〇〇〇
107	短冊加茂季鷹 加藤県主	天保10没	三〇〇〇
108	短冊白井星真野州郡中里村歌人	明34没	二〇〇〇
109	短冊渡忠秋江歌人明14没 北村神社吉見胤胤各枚	天保8	三〇〇〇
110	短冊柿園号貞興 平安八世俳人	天保8	五〇〇〇
111	短冊青蓮院尊祐親王。下鴨鴨俊彦元治元	各一枚	五〇〇〇

国書刊行会 〒170東京都豊島区巢鴨3-5-18 ☎03(917)8287

薩摩焼の研究

田沢金吾・小山富士夫共著

黒物を主流とする陶器から、白磁や染付・色絵・錦手・三彩まで多種多様な様式をふくむ薩摩焼の起源を解明し、歴史的展開をあとづけた基本文献。帖佐系統・堅野系統・串木野系統・磁器系統の諸窯に分類し解明する記念碑的大著。 一五〇〇〇円

伊勢流包結図説 図解紙包みと紐結び

伊勢安斎編著・屋代輪池校閲・佐々木浩一訳註／進物包み、弓包み、帯包み、とんぼ結びに桜結びなど、江戸時代の幻の指南書を現代語訳し、図解と註を付した。三八〇〇円

切腹 悲愴美の世界

中康弘道著／切腹の沿革・作法から美童切腹史、会津白虎隊悲談、三島事件まで切腹の全てを考証した迫真の書。勇武と苦痛の独特な空気が解明された好著。二八〇〇円

改訂 図印大鑑 国書刊行会編 88000円

難字・異体字典 有賀要延編 78000円

法名戒名大字典 釈 慶蔵編 68000円

禅林名句辞典 飯田利行編著 45000円

増訂 古辞書の研究 川瀬一馬著

〔内容〕序 諸橋徹次／鎌倉時代以前における辞書／平安朝以前における辞書／平安朝における辞書の概観／平安朝における辞書各説／鎌倉時代・南北朝における辞書／辞書概説／辞書各説／室町時代における辞書／概説／各説／索引／著作目録／巻後に他

●B5判 上製函入一〇六頁 図版60点 定価二九〇〇円

などのサザランド切手から鉄道・郵便馬車を追う!!

明治の郵便・鉄道馬車

東西交流叢書 3

篠原 宏 著

※明治初期から大正にかけて全盛を誇っていた鉄道馬車、乗合馬車、郵便馬車、サザランド会社、エド・メーブル、カフ馬車会社を徹底的に図版とともに細説している。しかも、オムニバスから大陸横断馬車まで豊富なエピソードとなまの資料でダイナミックに描かれている。一般読者にとつて格好の読物。

●A5判 上製三五〇頁 図版一五〇点 定価三八〇〇円

西洋人の描いた日本の生活と風土、図版一、三〇〇枚

碧眼 日本民俗図絵

富田 仁 序・吉村 善太郎 編著

※一六世紀から一九世紀にかけての欧米人による日本研究図録。いわば「青い目で見たイラスト・ジャパン」であり、視覚による日本紹介書である。彼らが「異国情緒」を感じたものをどのように描いたかを通覧でき、絵筆をとつた画家やその資料についても解説している。

●B5判 上製函入 五〇〇頁 定価九、二〇〇円

雄松堂出版

112 東京都文京区大塚3-42-13 ☎03-1943-1579-1

古筆

春名好重著

◎古筆全般について体系的に論述
◎主要な古筆はすべて網羅して解説を付す

いわゆる茶掛等に珍重され、美術品あるいは書道手本として重視される《古筆》とはいかなるものか。本書は古筆の鑑賞のみに止まらず、その全般にわたり体系的に述べ、古筆に関する知識の宝庫といえる。また今回復刻にあたり、特に現在の所蔵先一覧を増補した。昭和18年刊の復刻）
B5判・上製クロス装函入・二〇八頁・口絵一七頁 定価六、八〇〇円

名古屋南部史

全一冊 昭和27年刊の復刻
二九二頁・一八、〇〇〇円

郡上八幡町史

全二冊 昭和35年刊の復刻
一〇三二頁・一三、〇〇〇円

八鹿町史

全二冊 昭和46・52年刊の復刻
一三二〇頁・二〇、〇〇〇円

多紀郷土史考

全二冊 昭和33年刊の復刻
八四〇頁・一三、〇〇〇円

諸本倭名類聚抄本文篇

天治本 新撰字鏡 増訂版
B5判・八六頁 定価二一、〇〇〇円

諸本倭名類聚抄索引篇

天治本 新撰字鏡 国語索引
B5判・五三〇頁 定価 八、〇〇〇円

諸本倭名類聚抄外篇

天治本 新撰字鏡 国語索引
B5判・二八〇頁 定価 六、〇〇〇円

集成倭名類聚抄

日本地理志料―和名類聚抄国郷里部彙注
B5判・八七四頁 定価一五、〇〇〇円

臨川書店刊

606 東京都左京区今出川通川端東入50M ☎075(721)7111 FAX075(781)6168
101 東京都千代田区神田駿河台2-11-16 ☎03(293)5021 FAX 03(293)5023
530 大阪市北区芝田1-6-2阪急古書のみち ☎06(374)1300

近刊

近世復古清涼殿の研究

島田武彦著

現在の京都御所の清涼殿は、平安期より幾度かの変遷を経て、安政二年(一八五五)に造営されたものである。その際、寛政二年(一七九〇)度の復古形式が踏襲され、現在に遺制のない古代宮室や寝殿造がしのばれる。宮内庁、京大工学部を経て晩年まで清涼殿の研究に励んだ著者が、その復古の経緯を明らかにする。
●四六判・二二〇頁／定価三、八〇〇円

京都町衆伊藤仁斎の思想形成

三宅正彦著

一貫した稿本研究の基礎的検証を通して伊藤仁斎の思想形成をたどり、その契機と成立を明らかにする。また京都町衆としての仁斎の意識形態を問う。仁斎学に新たな光をあてる。思想史のみならず近世史全般の諸課題をさぐる力作。
●A5判・三七八頁／定価五、八〇〇円

明治初年真宗門徒大決起の研究

三上一夫著

明治初年に続発した一連の真宗門徒大決起の中から、本書では「越前護法大一揆」の詳細な分析を通して、その実態・経過・歴史的特質・地域性などについて、多面的・重層的にとりあげ、わが国の近代化政策に対する一視角を提示する。図表多数収録。
●A5判・二二〇頁／定価三、八〇〇円

好評発売中

ザ・ヤトイ

お雇い外国人の総合的研究

お雇い外国人が明治維新前後の日本の近代化に果たした役割は計り知れないものがあり、本書は、今日の新たな視角からお雇い外国人の役割を見直し、現代に及ぼした影響などを究明し、あわせて国際学術文化の交流発展のために一九八五年三月、福井大学において開かれた「第二回ザ・ヤトイ国際シンポジウム福井大会」の成果をまとめたもので、講演三篇のほか十八篇を収録した。
●B5判変・三三〇頁／定価六、三〇〇円

明治文化と西洋人

重久篤太郎著作集

日本英文学会創立以来のメンバーであり、永年、英学をはじめとする洋学史研究に携わり、「日本近世英学史」『お雇い外国人』などをもつた著者の諸論文のうち、種々の雑誌・紀要などに発表され、未だ公刊されていなかったものを中心に一冊にまとめた。I 明治文化と西洋人 II 書物と文学 III 日本英文学上の同志社 IV 英語教育 V 小品 人々と思ひ出 付・略年譜・論文目録
●A5判・四〇〇頁／定価九、八〇〇円

最新刊!

古文化財の科学

山崎一雄著

古文化財の科学的研究の第一人者による四十五年余にわたる成果をまとめる。正倉院宝物の調査・装飾古墳・高松塚・法隆寺金堂・栄山寺八角堂・醍醐寺五重塔・源氏物語絵巻などの顔料分析、正倉院の陶器・ガラスや緑釉陶などの化学分析、および銅鏡・銅鐸・青銅器などの成分分析に関する諸報告を収録。
●A5判・三八〇頁／定価五、八〇〇円

思文閣出版

京都本社 〒606 京都市左京区田中関田町2-7 (075) 751-1781
東京支社 〒104 東京都中央区銀座6-11-10 (03) 572-9051

〔呈内容見本〕